夕刊
新京日日新聞
定價 一部 金三錢 一個月 金八十錢
郵稅 一個月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話三二二五番・三三〇〇番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

日本橋通驛前
中谷時計店
電話三八五四

長城線にある 滿洲國國境嚴然確立 意義ある史的事業完成

【喜峰口十日發國通】滿洲國の南部國境たる長城線の各關門は本日午後二時三十分川原部隊の古北口占領によつて「完全」に自國軍の手中に歸した、即ち東端の山海關及び九門口は過般の山海關事件の結果逸早く落合部隊の占據する所になり、冷口は米山部隊によつて一番乘りの名乘をあげ、界嶺口又一昨八日中村部隊によつて占據され喜峰口は昨九日午後五時服部部隊の手により、長城の最重要關門にして北平への咽喉たる古北口は本十日午後二時三十分〇〇の川原部隊によつて完全に占據され、名高き萬里の長城蜿々たる大行山脈には日章旗高らかに翻り、皇軍は直隷平原を脚下に俯瞰し嚴重なる「警戒」に當つて居るかくて長城線による滿洲國國境線は嚴然確立され、此の方面に於ける歷史的意義ある事業は完成された

輸出金兌換に關する一切の權限を擧げてその掌中に收めることゝなつた

銀行休業を無期延長 イヤマークの禁止も

【ワシントン九日發國通】ルーズヴエルト大統領は九日議會を通過、即日公布實施された緊急銀行法により、大統領に附與された廣汎なる權限を行使し、九日右法實施に關する布告を發し九日一杯で滿期となる銀行の休業を更に無期限に延長すると同時にイヤマークの禁止をも延長する旨布告した、新布告は右の外去る五日大統領が發した布告の効力を一切無期限に延長し完全にその効力を存續せしむるもので勿論金及び通貨の退藏鑄潰し等の禁止も引續き實施される

三月上旬 外國貿易概算

【東京十日發國通】大藏省發表三月上旬十六港外國貿易概算（單位千圓）

輸出	四七、三六五
輸入	六二、六八五
合計	一一〇、〇五〇
輸入超過	一五、三二〇
一月以降入超	一四四、一三五

憲法調査委員特命式

三月一日附を以て發令を見た憲法調査委員の特命式は本日午前十一時より執政府はこれ等委員に一場の訓示を與へられたが、これに依つて滿洲國政府は憲法の調査に取懸り、將來理想的憲法設定の第一歩を踏み出したものである

開業銀行は財務省で指名 緊急銀行法は九日公布

【ワシントン九日發國通】緊急銀行法は九日中に上下兩院を通過し即日公布されることゝなつたが、財務省では右法令公布と同時に左の處置を執ることに決してゐる

一、健全なる銀行に對し、十日から開業を許すべく之等開業を許可さるる銀行は財務省で指名す

一、其の他の銀行はその資產狀態の健全なる事が立證された場合は事情の許す限り支拂不能の銀行は聯邦政府監理局の手で嚴重な資產狀態の檢査を行はしめ、他方大統領は引續き十日後の緊急狀態に應じて新たなる布告を公布し、銀行合同の金兌藏禁止に關して更に廣汎なる統制案を引續き行使すべきことを宣言する豫定である

決定せば改めて公布

【ワシントン九日發國通】緊急銀行法案は金輸出防止に關しては何等言及してゐないが金本位制の維持乃至停止に關する一切の權限は總て大統領に委任すべく、大統領は司法處置に基き更に布告を公布、金輸出、金兌換乃至銀行休日に關するその廣汎な權限を實施し得る規則を發表する豫定である

高橋藏相談

【東京十日發國通】緊急銀行案が米國上下兩院を通過したに對し高橋藏相は左の如く語る

これで當面の恐慌對策は一應出來たものと見られ、今後は米國財界建直しの根本對策だ、弗相場はそう下落しやうとは思はれない、金本位制の復活は何うしても戰債問題が片付いてからでなくては實現出來ないと思ふ

金銀に關する全權限 大統領の掌中に

【ワシントン九日發國通】大統領は今や世界金融市場未聞の大インフレーション政策を實行し、銀行の開業及閉鎖權は勿論、金銀貨並に金銀塊の

協和會の同情週間 二萬餘人救濟 殘金は三陸地方義捐金に

滿洲國協和會駐京辦事處の主催で先に行はれた建國周年記念同情週間收支結果を九日午後六時新京ヤマトホテルで「報告」したが赤峯氏の挨拶安河内氏の詳細説明があり殘金六十二圓四十五錢は三陸地方震災見舞金に、殘銀二百八十圓七十五錢は關帝廟および貧民救養工廠で行ひつゝある施粥費へ寄附するに決定した、同情週間で得た殘金は寄附金百三十八圓二十錢、舞踏大會收入六十二圓二十五錢、計四百九十一圓四十五錢、寄附銀千五百五十六圓四十錢、舞踊大會收入六十九圓三十五錢で此內三百八圓給與、米五十八俵四百五十圓、饅頭一萬五千個三百二十五圓、粟二十五石二百七十圓、高粱二十五石支出は諸經費金百二十二圓八十錢、銀二十五圓、十錢で差引前揭の剩餘が出た、この同情週間に救恤を受け滿洲人の延人員二萬二千二百人、一人宛粟一合五勺、高粱一合五勺、饅頭三個で約五千五百人が連續給與を受けたもの、尚日本人は內鮮人を主として延人員四千八百人となつてゐる、この期米一斗と金五圓を與へられたがこれは新京警察署の「調査」に基き救恤を決定したもので、日滿人何れもこの擧に對し非常な感謝を捧げてゐると

滿洲國販賣所
金龍洋行
有田燒 香蘭燒 日田漆器 東洋陶器
新京吉野町二丁目
電話2755

張前敵總司令訓示

【赤峰十日發國通】十日午前十一時滿洲國軍討熱前敵總司令張海鵬上將は赤峰縣長孫廷弼、公安局長、商務會長代理等赤峰の官民有力者を集め、大要左の如き訓示を與へた

諸君は數日前この酷寒中に於ける勇猛果敢にして、同時に親しく味深き友邦日本軍の善戰を見たであらう、我輩は昨秋執政の命を受け、日本に於ける特別大演習を陪觀して衷心より友邦日本の、驚くべき善政に羨望措く能はざるものがあつた、我輩は既に執政の命令を拜し、斃れて熄むの覺悟を以て、王道樂土の實現に精進せんとするものである諸君も我輩の意を體し、一致協力して滿洲國民としての義務を盡し、以て東亞民族としての使命を果されん事を切に望む

新京日日新聞社
營業部
電三三〇〇番

朝鮮同胞に依る 日滿興隆の途（三） 小笠原省三述

更に私は、教養ある朝鮮青年の就職難を如何にすべきかに就いて考へたい。

朝鮮人は教育に非常に熱心な民族である、子弟の教育の爲めに一家の財產が犧牲となる事は決して稀ではない、而して朝鮮青年就學の唯一の目的は何か？官吏になりたいが爲めである。

內地にては勿論朝鮮にても、內地人官吏に壓倒されて就職の餘地がなく、あつても例の加俸問題や其の他の爲めに、悶々たる日を送つてゐる。實情である然も年々學校出の朝鮮青年が增加する。

彼等は郷里に歸つて父祖の家業に就き得ない、徒に議論を上下して日を送る中に思想的に惡化する、內地留學の青年に赤化主義者の多い原因の一である。

新興滿洲國は、あらゆる方面に人材を必要としつゝある智識ある教養ある朝鮮青年は滿洲國の教育に農業に地方行政に進んで參與しなければならない、殊に、間島東邊道の如き朝鮮人の集團せる地方には、身を挺して同胞の指導に當る朝鮮青年を多數必要とするのである。

實質的に優秀なる朝鮮青年は、當然將來の滿洲國政府の樞機に參與すべきである、唯一躍直ちに好地位を占めんとするは却つて朝鮮同胞の進路を阻害するものたるを知らなければならない。

更に、朝鮮內の朝鮮人に就いて考へる、昭和五年十月の調査に依れば、全人口二千百萬八千餘に達し、年々約三十萬に近き增加を示してゐる。

文化的施設の普及徹底は必ずしも生產額の增加を來さない、全民衆の八割は農民であり其の八割は小作人である朝鮮人の生活苦が、年と共に深刻化しつゝあるは、急速なる內地化が其の原因の一であるにしても「朝鮮」は今、生きんが爲めに新しき土地を必要とする、三十萬近き增加人口と教養ある朝鮮青年とに新天地を與へなければ、日本の朝鮮統治は一層の困難を來すのみならず內地渡來朝鮮人の增加は、內鮮人間の對立を益々激化する

われ等は此の意味に於いて「日本の重大なる國策」として、滿洲國に朝鮮同胞を進出せしむるの具體策を講じなければならないのである。

怪人凱歌（百六十九）

須藤鐘一 作 （畫）澁 秋方

過渡時代（一）

時の歩みはいろ／＼の變化を社會生活の上に與へた。

封建時代は、常に水の如く不安定であり、醱酵し易かつた社會の組織や制度がちやうど其の時代の人口や、人々の思想、知識、習慣、道德等にピッタリ適合して、ある時、生活の水は暫らく靜止の狀態を保つ。

然し、その人口が極度を超過したりすると、人々は元のまゝの社會組織や制度では滿足しなくなり水は直に波立ち騷ぎ、土手に龜裂を生じて溢れ出るのである。

德川三百年の泰平は、その時代の人口と人々の思想、知識、道德、習慣に適應した封建的制度によつて平靜が保たれた。

だが、次第に人口がふえると共に、諸外國のいろんな刺戟、開發によつて在來の思想、知識、感情にも變化を來たした。そこで、もう封建の制度では水の安定を保つことが出來なくなつた。斯くして遂に明治維新の大崩壞期が到來したのである。

折から歐米諸國に發達した資本主義文明の流れが、我國へも滔々として侵入し、それが崩壞後の混沌たる日本の無秩序時代を縱橫に攪はんした。すると忽ち歐米文明の皮相的模倣者が續出して、こゝに形成せられたのが、明治大正の我文化であつた。

歐米に於ては、百年二百年を費して發達の極に達した資本主義文明が歐洲大戰を區劃點として、あのやうに悲慘な、慘憺たる大崩壞を開始した。その餘波を受けた日本の模倣文明は、早くもあちこちに龜裂を生じて、ちやうど大震災後のやうな狀態に陷つた。

今や、その改造、修復の急を要する最も重大な時期なのである。

昭和維新はいろ／＼の意味で明治維新にも劣らぬ多事多端の時でなくてはならぬ。

隨所に現はれた社會生活の龜裂もうまく修繕補强して、一時的の安定狀態に落ちつくか。或はもつと荒療治をして根本的の大崩壞、大改造の機運を促成しやうとするのか。どちらにしても今が最も重大な、そして危險な時代であらねばならぬ。

政治に於ても、產業に於ても、思想に於ても、感情に於ても國民は正に嵐の眞只中に置かれたものと覺悟せねばならぬ。

かゝる風雲急なるの時代には、そのドサクサに紛れて、私を逞しく法を脫して不正不義を行はうとするものが、上下に續々現はれるものである。

權力者は、自らの委ねられた公權を濫用して私利私慾を計ること、經濟權力者は、あらゆる手段方法を講じて權力者に近づき之れと結托して不正不義の甘い汁の分け前にあづからうとする。

その結果、正しけれども弱き者は、益々虐げられ、不正なれども强きものは愈々社會の表面にのさばりかへる。そしてそれが當然のやうな顏をして通用するのだ。之れは然し一時の變態的社會狀態に過ぎぬけれども、斯かる時機に遭遇した善良なる弱者のみじめさを如何にすべき。

議會政治はいよ／＼輕視せられやうとしてゐるが、そのために暴露される上下官民の醜態はどうであらうか。

數年前から全國各地に起る工場の勞資爭議はどうか、地主と小作人の問題はどうか。

[illegible]せば國民はみな波立ち騷ぎ、安き心もなく戰々兢々としてゐるのだ。が、それこそ我等のまさに踏破すべき新時代である。

受難と試練の新しき時代は、既に眼前に肉迫した。それは滿身にいばらを生じ、猛獸の叫びをあげつゝ疾驅する怪物であらねばならなかつた。

暫らく鳴りをひそめてゐた白熊岩雄の率ゐる熱血正義團は、此形勢を見て取るや、我が時至れりとひそかに暴動の準備を整へるのであつた。そこへ、團員の一人が飛び込んで、今宵、麴町の大總理官邸では與黨幹部の秘密會が開かれちかく行はれる總選擧に對する大方針が決議せられるといふことを報告した。

日日案內
三行 一回金三十錢
五行 一回金八十錢
十行 一回金一圓五十錢
氏名在社 一回金十錢增
御申込みは電話三三〇〇番

質は三浦屋
出勉強、保管確實、
新京祝町三丁目三（花園）
三浦屋質店
電話三七七五番

日本刀劍（鑑定無料）
新古刀、研、白鞘本造拵付軍刀調製及寶貿打粉、丁子油、（錆止）（槍さ薙刀）
長春寛町小學校前
井上示現軒
電話三二〇三番

ほねつぎ專門
今辨慶療院
新京室町公學校前

下宿案內所
東五條通及祝町五丁目角
滿日館
電話三八〇二番

合服の御注文は
時代の先端を走る
高級既製服・入荷豐富
エスヤ洋服店へ
電話二六一九番

造花及生花
神佛具
道具一切
加藤葬儀社
新京祝町二丁目
電話三二〇八番

小口金融
月賦、日賦、其他御相談に應じます
新興社
祝町二丁目四番地（西本願寺向右隣）

琴古流 尺八 指南
初心の方歡迎す
師範 西田方山
（ヤマトホテル裏）

滿洲國政府公報取扱
東朝、大朝兩新聞取次
行物一切
大阪 東京 朝日新聞販賣所
大滿蒙新聞
朝日舍
栃尾新聞舖
東一條通二二
電話三三四二番

洋帳簿 各種製本專門
三笠町三ノ九
三省堂製本所
電話三三三四番

▲職業紹介
生活ニ困窮シタル者ヲ救濟ス並ニ求人求職者ハ無料紹介ス
新京勞動保護會

印刷
新京朝日通り
三友社
電話三四三八番

めがねの御用は
金華堂へ
吉野町二丁目
電話六四五

僕の家のコックさん

宮內省御用達 味の素本舖 鈴木商店
1—A

撫順炭 本溪湖炭 各種炭販賣
滿鐵指定石炭商
新泰洋行
新京祝町四 電話三三九七番

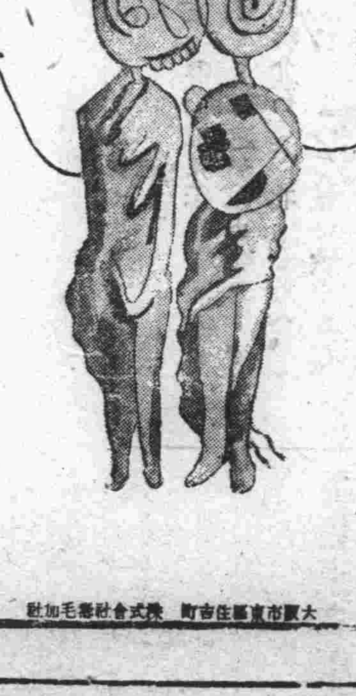
明治四十一年二月十一日創立
營業狀態、資產、信用、性行、評判、其他商事、人事結婚等ニ關スル調査日報、統計發行
滿洲興信公所
新京支所
大連市駿河町一 電話四七六六番
常盤町一丁目十二 電話四四六八番

產婆 派出婦
東京に於て二十年來の體驗親切と丁寧の產婆
日滿家政婦人會
日滿產院
內務省免許 產婆 鳥山鶴子
新京祝町五ノ一四番地
（姙產婦入院應需）
（看護婦家政婦希望者多忙御出下さい）
派出婦最底の料金と身元確實の者御申込次第速次派出致します

徽章 メダル 勳章
滿洲唯一高級美術 專門製造
滿洲國 國務院 需用處 執政府 指定

新京日本橋通六三番地・電三四二二番
金華號支店

新入荷
ステツキ
中折帽子
ネクタイ
ワイシャツ
和洋百貨 赤木洋行
新京三笠町
電話二一七三番 三八六九番

タバコのみの
歯磨スモカ
そもそもタバコとスモカとはヤニッコイ仲でゐてサッパリした仲でもある

煙草 化粧品 藥店にあり
大阪市東區住吉町 株式會社壽毛加社
528

漸く醒めんとする支那

外交的手段により紛爭解決を期す蔣

紛爭の禍根學良を下野せしめ 自ら事態の拾收に

（北平十日發國通）九月十八日事變發生以來一年有余、張學良の東三省攪亂政策、中央政府の國際聯盟對策、リツトン調査團の實地調査視察、聯盟の最後的勸告決議等幾多の曲折を經たが、結局日本軍の熱河肅正の余威は已に北平の玄關口たる古北口まで及ぶに至り、張學良をはさんで日、滿、支の三國關係は息詰る樣な窮極的場面を展開するに至り、蔣介石も遂に張學良の存する限り、日支紛爭の根本的解決は不可能なりと斷定し非常な決意を以て紛爭の禍根たる張學良を下野せしめ、自ら紛糾せる事態の拾收に當る可く決意するに至つたが、對內政策上對日滿の軍事的手配をなすであらうが一方では徐ろに外交手段による局面の打開策を講じ、久しきに亘る日本との抗爭を終熄せしめ、自己の覇權確立策に出でるのではないかと見られて居る

一方對內政策上 對日滿軍事的手配

石家莊に抗日總司令部を設く

（北平十日發國通）對日宣戰を覺悟した蔣介石は石家莊に總司令部を設け、自ら對日積極戰の指揮をとり、又何應欽を前線總司令に任じて北平に頑張らしめるに決したので北平軍事委員會も自ら解消され、學良の部下一切の軍憲は中央政府に改編されることになつた何應欽は十一日學良から軍權一切の引繼ぎを受ける事となつた

總司令部を北平に移す

（北平十日發國通）對滿反擊戰の手配を決定した蔣介石は今後の戰局の推移をみた上總司令部を北平に移し同時に何應欽の前敵總司令を古北口に進出せしむるに決し、それまでは最前線の指揮は中央軍第十七軍長徐庭瑤をして之に當らしむるに決定した

學良の都落で對日態度急轉廻

（北平十一日發國通）張學良の都落ちにより學良對日本の關係一切は清算され、古北口に於ける戰事の一段落により今後は萬里の長城を境として日滿支軍の對峙、蔣介石の石家莊に於ける覇權確立、何應欽等による北中の軍權政權の把握等戰雲は急速度で終熄するものと觀測され、尙憂慮された長城以南の支那軍の積極的態度も蔣介石の決意により對日態度一大轉換により最早や問題となるまじく、從つて我軍の關內に於ける自衛權發動も最早みざるに至るべく中山書記官も今朝支那軍當局へ警告文手交の豫定を中止した

西南執行部 蔣を責め通電

西南執行部は蔣介石の罪を責め七日附全國に左の如き通電を發した

熱河危急を告ぐるや逸早く湯玉麟は承德を棄て後方に潰走しこが爲め全線總軍が瓦解となり＝敵軍＝は戰を交へずして熱河に進入せるは痛憤に堪へざる處なり斯る大敗戰の原因は貴下の不抵抗的態度にあり曩に山海關陷落に際し國民を卑け憤戰し之れを抑壓すること能はずと見るや貴下は始めて抵抗を許して且つ十萬の軍を北上せしめんことを揚言せるに拘らず北方軍隊は日本軍に應戰し旬日を經過するも貴下は勦共に名を藉り南昌に逃亡して何等爲す處なくしのみならず貴下が日本と妥協を圖れる事實南北に傳へらるるや忠勇なる第一線の軍民は敵彈に晒らされ奸謠の徒は敵と＝通謀＝し內亂を謀れり之か爲め湯玉麟、逃亡前線軍心の恐慌を來たせるの罪は貴下にあり今や國民瓦全を望み得ずとも民族を危急より救出するの策につきたるに非らず就ては過去の過を精算し大軍を北上せしめ强敵に對抗せられたく西南側救國抗日の素志を貫徹するの決心を有す最近掃匪の傍ら軍を北方に進め共同して敵に抗することに決し玆に貴下に最後の忠言を呈す

脫退通告書 參內して委曲奏上

（東京十一日發國通）日本の國際聯盟脫退の樞府諮詢は問題の性質が相當重要性を帶びてゐるので政府としては諸準備の事項が甚だ多く今回漸く完了したので十一日正午臨時閣議を開いて正式に審議し決定した後十一日午後齋藤總理及び內田外相は宮中に參內委曲奏上し樞府諮詢を奏請する事となつた

南京監察院側 學良に强硬な態度

「死刑でも差支へない」と潛熱が張り出す

（南京十日發國通）熱河の失敗に關し湯は各方面から非難攻擊されてゐるが、國民政府要人中には餘り張を責めやうとせぬ者が＝相當＝ある、之は蔣介石の立場に氣兼ねしてゐる爲であるが、八日の南京方面の諸紙は學良の排擊を高調してゐる監察院の一部では學良が中央政府から三百萬元の軍費と五百萬發の彈丸を獲得し乍ら、赤峰に最後まで踏みとまつた孫殿英に對し僅かに三萬元と三十萬發の彈丸を分配したのみだ、右は學良に抗日の意思少なかつた證左であると難じ、又一部では學良滿洲事變以來の不始末を痛擊し、更に蔣がつた者は死刑に處すべきの嚴命を發したことがあるから、既に四省の都を失つた學良に當然死刑の宣告あるべきであると要求してゐる、又一部の委員は湯の非を擧げ之が處罰を要求し三案を＝提示＝した、審査の結果該三案は理由ありとして採用され直ちに國民政府政治會議に送付された

蔣、張、何、宋 當面の政策協議

（北平十日發國通）昨九日辛店に於ける蔣、張、何、宋等四巨頭會議の結果に就ては未だ何等發表されないが、確實なる方面に達した、學良、宋子文など側近者の談話等を綜合するに右會議の主旨は中央政府を持つ下に張學良政權の維持を目的に對策を協議したもので、第一に學良の責任問題緩和方法に就き學良の全兵力並に中央より增派中の第二師第二十五師などで古北口戰線の最前線を繰出し此處に最後の防禦戰を試み、假令數日間でも日本軍を喰ひ止め、以て學良は全力を奮して防戰せりとの口實を作り、中央又學良に協力河防の爲に二つの責任を分擔せしめとの國民に對する申譯並に特に勃發せんとする反蔣の動への先手を打ち第二は學良政權の崩壞卽ち蔣介石政權沒落の第一步よりとの目地より中央軍を僅數ケ師北上せしめ專ら前戰の雜軍の監視牽制にあたらしめ、北支地盤の動搖を防ぐべしとの二大方針を申合せたに過ぎないものらしく當面の熱河奪還策については、これを學良の手前熱河に交渉はするものゝ、何等當面の進展なく議題にさへなり得なかつた

閻錫山の出馬を蔣介石懇請す

北支時局對策指揮

（天津十日發國通）蔣介石は張學良、宋子文と別れて南下し、今朝石家莊に到着、同地に在つて太原より來る閻錫山の到着を待つてゐるが蔣閻會見せば蔣は閻錫山の出馬を極力懇請すべしと言はれ閻は當分同地に留り場合に依つては再び宋子文、何應欽等の南下或は南京より羅文幹等の來着を求め北支時局の對策を指揮せんとしてゐると

何柱國軍第一線は九日以來後退

（天津十日發國通）灤東警備司令何柱國は八日各軍に對し軍は灤東の固守に任ずる事は勿論であるが、中央の態度に重大變化を來すかも知れず、此際積極的行動を一時中止す、各軍は何時にても移動し得る準備をせよと命令したが秦皇島、山海關方面の支那軍第一線部隊は九日以來俄かに減少し、秦皇島の市內各所の警備撤廢、軍隊は續々灤州方面に後退を開始した右何柱國軍の後退は、日滿軍の界嶺口、冷口占據により、戰略上前線に止つて居る事を許さず、加ふるに熱河敗殘軍に對し萬一を慮る必要あり、又秦皇島一帶の從來の日滿軍歡迎、滿洲國との併合希望の聲は愈々高まりつゝありその推移は注目さる

蔣、張の戰鬪計畫に 帝國政府警告を發す

＝軍部、外務協議の結果＝

（東京十日發國通）蔣介石が直屬軍を率ゐて北上し、日滿軍へ反擊せんとの計劃に對し軍部、外務當局では協議の結果左の方針で當路者に警告する事に決定し、本日北平駐在中山一等書記官に訓電を發した、即ち訓電の內容は

一、我國は熱河省內の討匪工作が一段落すれば事態擴大の意向はない

一、滿支兩國々境の安定を圖るため長城の兩側に一定距離の非武裝地帶を設定する事が必要である、支那側に於てこれに承諾すれば出先官憲に交渉せしむる用意がある

一、萬一蔣介石、張學良の軍隊が戰鬪行爲を開始するに於ては、之に反擊を加へざるを得ないが、この責任は素より支那側にある

失地恢復に十七個旅動員

（北平十日發國通）十七個旅は改めて蔣介石、何應欽の指揮下に、失地奪回戰に動員される事となつたが、その配置は左の通りである

（一）山海關　三個旅　（二）天津、塘沽　四個旅

（三）北平、保定、張家口　三個旅　（四）長城に沿ひ喜峰口を中心に　七個旅

張學良の下野 昨日公式に發表

順承王府の戒嚴狀態

（北平十日發國通）學良政權全に墜ちるの日迫り、順承王府の四圍は未曾有の戒嚴狀態で、一切の通行遮斷され、寂として聲なく、死の城都と化して居る、尙張學良の下野については、今夕八時軍事委員會北平分會より公式に發表された

下野せる學良 十二日ごろ上海へ

次でフランスへ向ふ豫定

（北平十日發國通）八日に下野決定、十日發令、十一日何應欽に一切の軍務を引繼ぎ一平民となる可き學良の行先きに就ては、各方面の非常な興味を惹いてゐるが、蔣張の會見に於て、蔣介石は學良の下野申出でを容れた際此上は貴下に自由を與へるから、中國領土內何處でも好きな所に住む可しとの意を示したが、學良はその申出を謝した上、出來るだけ早く海外に遊ぶ積りだと告げた、其の豫定は十二日頃北平發の飛行機で上海に赴き、最近の便船でフランスに向ふ豫定であると

蔣介石もまた當然處決さるべきだ

監察院會議に上る

（南京十日發國通）熱河軍の敗戰に關し支那中央部ではその責任の所在につき可成問題視され出して來たが八日南京に於て開かれた監察院會議の席上、蔣介石も當然處決すべきだとの議が出たが、この席上に於ては蔣系と見做される一派は終始沈默を守り殆んど發言しなかつた、結局この案は通過せずに散會したが右の如き空氣が日に增し濃厚となり蔣介石の影も次第に薄いで來た

湯玉麟の取調べ 南京政府の嚴命

（南京十日發國通）南京政府では湯玉麟が邊境守備の大任を帶び乍ら殆んど戰はずして其重責を過つたので、其官を奪ひ行政院、監察院に命令を發し、軍事委員會と協力して主席湯を取調べさせることになつた

正式下野に際し 張學良、聲明書發表

（北平十一日發國通）張學良には正式下野に際し左の如き聲明書を發表した

父の志を繼ぎ外侮を防ぎ國威を發揚せんが中國統一達成の實現を痛感し、今日迄終始一貫變らなかつた、余は日本の傲然たる恫喝にも拘らず、國民黨を東北三省內に迎へ入れた、民國十九年關內に入り、外交方面に努力し來つたことは實績に徵して明かである

九、一八事件發生するや北平に在り、聯盟を通じ、世界の公道に訴へると共に兵を率ゐ國土を守る爲め奮闘これ努めた、勝敗は別とするも之が爲め今日までの犧牲として部下を失ふこと一萬に達してゐる、今回蔣介石氏の北上を迎へ、余は今にして引責辭職することこそ妥當なりと深く感じ、よつて玆に欣然として引退し、深く國民に謝するものである、尙ほ最後に希望するは余と共に國土防衞に深く痛心する國民は余の心中を諒察し、同情の念を以つて國土恢復の爲めに協力邁進せられんことを乞ふ、余は心中唯國家あるのみ、その外何等自らの爲めをはかるの念毫末もない

張學良署名

萬福麟北平に引揚ぐ

（喜峰口十日發國通）一戰を交ふる勇氣で二日淩源を失走せる敵の第三軍團長萬福麟は六臺の自動車を連ねて平泉に出で、川原部隊の鋭鋒を避け淩源を西、南にとつて八日喜峰口を通過し關內に入つたが日本軍には勝算なきを知り北平に引揚げるものらしい

王以哲軍總退却 北平街道に向け

（錦州十日發國通）十日午前十一時十五分我〇〇機よりの報告によれば、王以哲軍は古北口南側西南方老古店に向け北平街道に總退却を開始した

熱河失守と廣東諸紙論評

熱河失守責任問題に關する宋子文のステートメントに對し廣東方面の市民日報、デイリーサン等は左の如き社說を揭げてゐる

宋子文の聲明は承德の陷落に關し日滿兩軍が最新式戰器を所有し、戰鬪力に於いて絕對に優れ居る爲め我が方に於いては何人と雖も責任を負ふ可き筋に非ずと言つて居るが、右は徒らに士氣を沮喪せしむるもので不都合此上ない、又湯玉麟は熱河省の最高軍政官、張學良は東北軍事の最高指揮者である、更に蔣介石に至つては一國軍事委員會々長である、從つて蔣は湯、張と共に責任を負ふ可きである然るに宋の聲明によれば張湯の責任も更に蔣の責任をも不問に附せんとしてゐるが、これ國民を瞞着するもので、其心事實に惜むべきである

學良は歐洲に外遊

（北平十一日發國通）張學良の外人顧問たるドナルド氏は張學良の下野は昨十日國民政府で正式に許可したので學良は近く上海より歐洲に外遊する事に決定したと發表した

外遊に決定

（北平十一日發國通）正式に下野に決した張學良は二、三日中に北平を發し、上海に向ひ機を見て外遊する筈

人事往來

▲山內敬二氏（滿鐵新京地方事務所地方係長）十二日午後七時廿十分新京驛着來任

▲中川貫氏（前滿鐵新京衞生檢査所主任）十二日午前九時新京發旭號で鐵路總局へ赴任

▲久山卓二氏（前滿鐵新京地方事務所勸業係）同上

朗かな祝賀日和
首都の陸軍記念日

意氣ある第二十八回陸軍記念日の十日は數日來の酷寒も遽かに軟ぎ、新京市內は到るところ春陽も麗かに祝賀氣分が溢れた、この日午前十時西公園では明治三十七、八年戰役以來の戰役者の慰靈祭が官民多數參列の下に莊嚴に營まれ、正午から　町小學校講堂で日滿要人の祝賀交驩があり、引續き午後一時から商業學校講堂で全滿日本人大會が開かれたが稀有の盛況裡に非常時國民としての決意を示した

各地代表交々起ち
憂國の大熱辯
新京始まつて以來の盛況
宣言と決議を可決

非常時全滿日本人大會は十日午後一時より新京時局後援會主催の下に新京商業學校講堂に於て開催、參會者千五百名文字通り立錐の余地なき盛況裡に各地代表交々起つて憂國の熱辯を揮ひ、聯盟脫退後の國際危機と執拗なる中國の反日行動の繼續、國內の經濟的難局等々、內外未曾有の危局に直面して我帝國々民は宜しく國の如き決意を以つて聯盟解決に當るべきを力說する處あり左記宣言決議を可決して同四時半散會した

宣言

友邦大滿洲國建國を告げて方に一年妖雲散じ諸政革りて天地間生氣橫溢す都鄙三千萬衆民之を謳歌せざるなく日滿兩國交愈々敦厚を加ふ此間に處して我等在滿同胞些の私心なく勇往萬難を排して其の迅速なる完成を冀ふ所以のものは、相携へて東洋の和平を進め、世界の文化に貢獻せん事を惟れ念ずるが爲のみ、然して極東の實態を識らざる彼の群盲聯盟の徒輩徒らに蠢動策謀し、滿洲國の嚴然たる獨立を否認す、其の愚嗤ふ可くその蒙憫む可し、帝國固より事を好むに非ずと雖も義にして默す可からず、即斷乎聯盟脫退を敢てし正義孤〃をなすに至る千里獨往の意氣正に壯なりと云ふべし、然りと雖も前途を望めば險峻重疊、正に此れ皇國浮沈の岐路に立ちたるものと云ふ可く東洋文化の隆替を決すべき重大危局たらずんばあらず

惟ふに滿洲新國家建設事業はアジア聯盟結成の第一歩にして、世界史上空前の大業成就の序幕戰たり、我等在滿同胞は此の高遠の志趣深遠の經綸を把持して東方民族史上の偉業の上に於ける世界歷史的偉業の途に捨石として敢然として死に就くの覺悟を以て一致結束、難に赴かんとす、今や義憤に燃える我等在滿同胞の團結內に堅く雄々鬱勃として抑へ難きものあり自ら任じて永く滿蒙の安危を擔ふに足らん、東亞の土に此の生を獻じ誓つて信念の最高峰を死守一路使命遂行の大道を直往せんのみ

右宣言す

決議

一、吾人は大滿洲國の健全なる發達を擁護し東洋平和の確保を期す

二、吾人は大亞細亞聯盟の結成促進を期す

三、吾人は斷乎聯盟の盲動を擊破し挺身非常時局の難に膺らんことを期す

戰勝を兼ねて
日滿要人の祝賀交驩
熱河平定後の理想を强調

熱河省に於ける皇軍の戰勝を兼ねた意義ある第二十八回陸軍記念日祝賀會は、新京室町小學校大講堂に於いて正午開會關東軍より小磯參謀長始め在京陸軍將星、海軍側小林少將以下部員滿洲國側より筑紫、田邊各參議、宇佐美顧問、坂谷總長代理を始め日滿要人三百餘名列席武藤軍司令官に代り小磯參謀長より、熱河肅正後關東軍の大理想を高調したる挨拶を述べ、陛下の萬歲を三唱、宇佐美顧問來賓を代表して謝辭を述べ、陸軍の萬歲を三唱、非常なる盛況裡に一時散會した

大元帥陛下
靖國神社行幸
老將軍の追懷談を
御聽取遊ばせ給ふ

(東京十日發國通)第二十八回陸軍記念祝賀會は十日午前十時四十分から靖國神社で天皇陛下の行幸を仰ぎ盛大に催されたが　陛下には大元帥の通常禮裝にて十一時二十分宮城御出門、同三十分式場御着、秩父宮、梨本宮兩殿下をはじめ、皇族方に御對面、林、本庄、眞崎各軍事參議官その他に拜謁を賜ひ、次いで天覽品陳列場に玉步を運ばせられ、奉安嶺の勇士、荒木大尉の血染めの軍刀をはじめ、今回の事變に關係の記念品を御感深く御覽遊ばされ、正午會場に臨御、質素な野戰料理を召させ給ひ、老將軍等の追懷談を御興深く御聽取遊ばされ、零時三十分還御あらせられた

小磯參謀長の挨拶

既報室町小學校に於て開催された陸軍紀念日祝賀大會に於ける、小磯參謀長の挨拶左の如し

本日は第二十八回陸軍記念日であります、皇國の興廢を決しました奉天附近大會戰を幾世に傳へ國民をして永く此偉業を偲ばしめんとして定められました此記念日も本事變勃發前迄は空しく年中行事の一行事と化し居り事變は退嬰の一路を辿り悲哉滿蒙に在留せる同胞としては眞に悲憤慷慨の記念日であつたのであります

然るに本日滿洲國首府として新京に閣下並に各位と共に相會しまして聊か地下十萬の英靈を慰め且皇國百年の長計と東洋平和確立の理想を語り得ますことは衷心より欣快とする所であります、殊に此佳節に當り此次の熱河作戰が古來の戰史に其未だ類例を見ざる偉功と快速さを示しつつ進展致し居り日露役奉天會戰に於ける奉天城にも比すべき熱河省城承德は去る三月四日既に皇軍の手に歸しましたので茲に熱河戰捷をも併せ祝賀する事を得ますることは衷心御同慶に堪へませぬ然しながら我々現在の業績は高遠なる理想を以てすれば尚未だ緒業の一階梯に過ぎないのであります。經營の完成は今後百年の宿題として祖國日本に課せられてあることを思ひ決して現狀の小成に甘んじてはならぬと考へます尚又熱河の治安恢復に依り彌々滿蒙樂土の實現となりましてもこの樂土の中に桃源の夢を貪るか如き事がありましたならば再び事變前の悲境を自ら醸く結果となるは必然の理であります。

事變勃發後獲得し來れる旺盛なる意氣と不撓の努力を維持繼續して眞に九千萬同胞の前衞たる覺悟を要します

申すまでもなく現下の時局は內外共に未曾有の非常時であります現に當滿洲事變解決の主役たる閣下並各位及我々は各々其分に應じて責務の重大なるを自覺し私を去て公に報じ利を棄てて義に就き相信じ相助け衷心和衷協力の下に日滿親善の和を結成し以て日露戰役の精華を大成して本日の記念日をして益々意義あらしめなければならぬと考へます

實は武藤軍司令官歸京の上親しく閣下各位に接し本日の悅びを共にすべきでありますが勝て兜の緒を締めよとの古語に則り戰勝獲得後熱河を占領して變に應ずるの備を確實にし省內に跳梁する叛賊殘徒の平定計畫を確立し以て今後滿洲國側に於て實施すべき政治工作に必要明確なる準備を形成し置くの必要を認められ暫く錦州戰闘司令所に留まる事に決せられ特に不肖小磯を歸京せしめて閣下各位を御招待申上げ本日の佳節を祝賀すべきを命ぜられました

然るにも拘らず本館は設備萬端甚だ不行屆であり御招待とは名のみであり却て禮を失するの嫌がありますが我皇軍は今尚熱河の山野に在りて寒冷と饑えと戰ひ火を冒し皇國の爲身命を捧げて奮戰しつつあるのであります

何卒是等同胞戰友の境遇を御しのび下され所謂陣中の粗宥と思召され、御諒恕あらん事を御願ひ致します終に臨み各位と共に大元帥陛下の萬歲を三唱致し度いと存じます

昭和八年三月十日　關東軍參謀長　小磯國昭

チチハルで
盛大な祝賀會

(チチハル十日發國通)今日非常時に於ける軍　陸軍記念日とて午前十一時より小學校にて宍戶中佐の講演あり、正午松木○團長は龍江ホテルに日滿要人多數を招待して盛大なる午餐會を開き、二時より博濟公署にて官民合同の餘興を行ひ、午後七時より龍江ホテルにて講演と餘興を行ふ一方チチハル婦人會は午後一時陸軍病院に不幸入院中の傷病兵に對し誠意をこめた慰問をなした、官民ともに此の佳き日を心より祝し非常時の覺悟を固きものあり

東京の記念日
湧立つ愛國的興奮

(東京十日發國通)第二十八回陸軍記念日は非常時日本を訪れた繰り返へされる形式的年中行事とは打つて變つて、此の日帝都は熱河省城承德『陥落』の後を承けて二十八年前奉天會戰大勝の日を回想しつつ非常なる緊張振りであつた、早朝より靖國神社を中心に、帝都各所には諸種の催しが行はれ、陸軍軍樂隊の大音樂行進の波動けば、空に銀翼を連ねて亂舞する飛行編隊の爆音之に答へ、代々木原頭には聯合演習が展開されて陸軍近代戰の粹を實演して百萬市民の愛國の血を彌やが上にも湧き立たせた、夜は又六時からJOAKが「陸軍記念の夕べ」を催し、全國中繼放送にて荒木陸相、本間新聞班長等の全國『放送』ラヂオドラマ、戶山學校の軍樂隊の軍歌放送等に、非常時日本の心臟東京の愛國的興奮を全滿津々浦々にまで脈打たせ、此の記念すべき日の幕を閉ぢた

朗らかな山海關

(山海關十日發國通)前線は引續き平靜、而も今日ストーヴも要らぬ麗らかな好天氣で守備隊も城內の警備隊も晝間は陸軍記念日氣分橫溢し極めて朗らかである

塩密賣事件
全貌判明

(大阪十日發國通)島德藏氏取調べにより鹽密賣事件の全貌が判明するに至つた、即ち昨年十月末大塚久藏は上海にて天津の自動車部分品商人鄒宗元、南京政府陸軍中將吳揖光海軍中將張　泰を相手として南京政府に毒瓦斯材料の賣込み計畫したが資金の點で行き詰り日本人に出資を得る必要があり、大塚は福島泰三に相談、泰三は田中常三郎へ、田中は福島福之助に、福島は島德藏に話を持ちかけで上海鹽專賣局當局及び鐵產組合總理等と契約、荷物引換へに小切手を受取る事となり十二月上旬大連ヤマトホテルで安國丸に積み終つたが田中宛大塚發の電文から憲兵隊の活動となつて失敗し、目的地に達し得ず引返へした際で、毒瓦斯材料となるのは大塚以外も薄々知つてゐたところである

新京中學校
受驗合格者地方別
發表は十五日頃の筈

愈々四月開校をみる新京中學校の第一回入學考査は、去る七、八兩日に亘り行はれたが入學志願者受付百八十六名の中入學資格檢定試驗を要するもの十一名(公學校、普通學校生徒)中六名失格、なほ事故取消し等七名を生じ、實際當日の受驗者は百四十三名であり、結局四十三名ふり落されて規定通り百名の入學をみた、體格は全部至つて良好で新京中學校第一回入學者の意氣と希望とに燃えてゐた、入學者の正式發表は各中學校共十五日頃滿鐵社報に掲載される筈だが、右入學決定者を地方別に見れば左の如し

新京	室町小學校	三五名
	西廣場小學校	二二名
	普通學校	二名
	公學校	一名
ハルビン		七名
吉林		二名
公主嶺		四名
四平街		六名
開原		四名
昌圖		一名
鐵嶺		三名
大連		四名
內地		七名
其他		三名

日高刑事を
襲つた犯人か
新京署員密行中逮捕

九日午後四時三十分頃新京署谷口刑事の一隊が市內東四條通北平旅舍裏手を密行中擧動不審の二人組怪漢が阿片屋に入らんとするを發見有無を言はさず取押へると、右二名は懷中に拳銃を所持せるを發見し强盜容疑者として本署に引致したが二名は日高刑事の一行を射殺した共犯と見られてゐる

密柑商へ
拳銃强盜

十日午前十一時市內祝町五丁目十四番地密柑商松本洋行コト松本高次方へ支那長衣を着した四人連の滿洲國人が客を裝ひ同家を訪れ、密柑を見せて呉れと尋ねた、ため右四名を倉庫に連れ行き密柑箱の蓋をあけんとするや、突如一名は隱し持つた拳銃を取出し松本に突付け「金を出せ」と迫つた、松本は直に賊に組付き右拳銃を奪い取り、格闘を續ける內ついに拳銃を落すや他の賊は拳銃を拾ひ上げ松本に向つて發砲したため松本は腹部に擦過傷左右腕に各一發づつ貫、銃創を負つたが賊は一物をも得ず逃走した、急報に接し新京署では直に非常線を張り犯人搜査を行つたが杳として逮捕するにいたらなかつた、なほ松本は直に滿鐵病院に收容應急手當中であるが生命には別狀ない

新京錦州間
電話連絡開始

今回新京、錦州間に日滿電話連絡通話の取扱を爲す事となり三月七日より一般の例に依り通話及呼出の取扱を開始した、其料金は左の如くである

一、通話料一通話金一圓五十五錢

一、呼出料金三十錢

ショウ翁
東京見物に多忙

(東京九日發國通)バーナード、ショウ翁は、齋藤總理と會見の後美術館、博物館淺草等を見物の後、昨日午後三時半九段能樂堂で改造社主催の能樂を見物し、金春流の巴と大倉流の一曲を、ヨネ野口氏より說明を受けて日本能樂の妙に感嘆した

熱河作戰一段落
武藤司令官凱旋す

熱河討伐作戰指揮のため錦州に司令部を移した關東軍司令官武藤大將は同方面の戰況一段落を告げたので十一日午後四時五十分着列車で幕僚を從へ新京に凱旋した

「曾國幣」の看板を
はき違へて憤慨

十日午前新京署高等係へ「賣國幣〇〇換〇〇金票」といふ看板をかかげ國幣を賣る賣國的なものがある當局は斷然取締るべしと滿洲國幣と金票の交換つまり錢莊を國の貨幣を賣るものと取違へ憤慨した投書が舞込んだがこの種の誤解ないやう當局では一般に注意方を望んでゐる

義捐金募集の
ホールで暴る

十日の陸軍記念日夜、富士町のダンスホールキャピタルで三陸震災地義捐募集の大舞踏會を開催中、午後十一時頃二十四五歲の一邦人青年が入り來り、非常時に際しダンスをやるなど怪しからぬと演說口調で始めたが、來會者の一人が低聲でよく聞へぬと云つたところから兩者の間に爭論が起りはては椅子卓子をひつくりかへし亂暴を始めたので所轄派出所が來て取鎭め懇々說諭の上放還した

服部部隊の
從軍記者負傷

(喜峰口十日發國通)本十日午前十時喜峰口關門の交戰に於て服部部隊從軍の北海タイムス記者近澤英知雄氏は敵彈のため上膊部に貫、銃創、負ふた、熱河討伐戰に於ける從軍記者最初の犧牲である

卡倫占領に
敵の遺棄死体二百

(開魯十日發國通)遼　無一事二日、八日午後二時卡倫占領の茂木部隊の捕獲せしもの平射砲四、輕機關銃四迫擊砲四、其他武器、彈藥、被服多數に達した、我軍の損害左の如し

△戰死　特務曹長　一　兵　四

△重傷　下士　一　兵　九

△輕傷　特務曹長　一　下士　一　兵　三〇

尚ほ敵の戰場に遺棄せる死體は二百に達した

灰幕洞は
加速度的に活氣

敦圖線の終端地たる灰幕洞は鐵路局の都市計畫及び鐵道工事の進捗に伴ひ雜律と相俟つて昨年來俄に人氣の焦點となり、將來の一大發展を見越し滿日鮮人の來住者加速度的に增加し、接續部落と合し居住者今や八千名を越え解氷期を控へて一層戶口の激增を豫想されるが從來同地の通信機關としては僅かに郵寄代辦署の設置あるに過ぎず到底土地の需要を滿足せしめるを得ざるを以て來る三月十六日より灰幕洞郵局を設置し一般郵便事務の外內國並に國際爲替、價格表記を取扱はしめ同地商民一般の利便を圖る事となつた

傷病兵歸還

十一日午後零時半列車で新京から十名、公主嶺六名、鐵嶺十八名、の傷病兵を內地へ送還した

湯豐寧方面へ
退却また退却
我〇〇機大爆擊敢行

(承德十日發國通)承德に敗れ熱河內に入る可く手兵約三千を率ゐ逃走した湯玉麟は、長山峪の附近で友軍に阻まれ、進退谷まり、遂に古北口西北約四里の鞍匠屯附近に友軍と協同戰線を張り、我軍に抵抗したが、九日午後三時王以哲軍の潰走と同時に、豐寧方面に退却を開始したので、我〇〇機〇〇臺は之に大爆擊を敢行し、莫大の打擊を與へた

錦州の陸軍記念日

(錦州十日發國通)本日午前十一時三十分錦州戰闘司令所に於て陸軍記念日祝典の意ある祝賀會が催され武藤軍司令官以下各幕僚張景惠上將、多田少將を始めとし土地有力者新聞記者等多數參集先づ武藤軍司令官の發聲にて天皇陛下の萬歲を三唱し次いで武藤軍司令官の祝辭、張上將の祝辭あり一同冷酒を酌み交し、日本帝國萬歲、滿洲國萬歲を三唱盛會裡に散會した

吉凶禍福

△出生　籍新京市日本橋通二丁目六新京滿鐵販賣事務所根岸隆三郎氏女兒靜子、二月二十七日大連で出生

△死去　新京吉野町五丁目一〇三部良克八十午後五時死去

けふの銀相場

鈔票	金票	100.00
大洋	金票	78.10
國幣	金票	76.10
大洋	鈔票	76.10

森永ベルベツト
登録商標

よい菓子を安心して買へる店
森永ベルトライン
室町 吉野屋 電2311

急告
子供洋服及びメリヤス賣店至急讓リ度シ
希望者は常盤へ
新京土地家屋紹介處
新京曙町四丁目九番地
電話三七五〇番

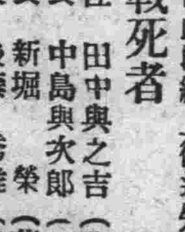
四月一日學生募集
一、關東廳甲種免許ヲ得テ優秀ナル技術者トシテ就職セントスル滿十八歲以上ノ男女　本科　四ケ月
一、關東廳乙種及領事館免許ヲ得テ迅速ニ就職セントスル十八歲以上ノ男女　速成科　二ケ月
一、滿洲國ノ許ヲ得テ就職セントスル滿洲國人　特別科　四ケ月
一、趣味スポーツトシテ研究セントスル男女　實習專門科　一ケ月
教授嚴格、親切丁寧、授業料廉價、就職責任紹介
(學則送呈)　奉天商埠地三緯路
滿洲自動車學校

貸家ヲ求ム
日本石油株式會社
新京東一條通二〇
電話三四八五番

最上白米
特等醬油
清酒、木炭
今田商店
電話 二九三三番

春店頭
魁ノ行流
廉底ノ格價
ノ此ゾ先
帽　折　中
ネクタイ
ワイシャツ
ハンドバック
日本橋通
現代號
電番2188

土地家屋
賣買貸借　仲買
城內料理店飲食店向ノ讓店アリ
新京四馬路民政部前
佐々木壽
電話二八一九番


Resturant & Cafe
レストラン　箱根
新京大和通り　TEL 3419(4)

去る三月七日當隊牛酒局子附近の匪賊討伐戰闘に於て左記四名名譽の戰死を遂げられ候處明後十三日午後三時當隊に於て告別式を執行可致候條乍略儀此段紙上御通知申上候也

戰死者
警佐　田中與之吉(茨城縣出身)
警長　中島與次郎(福井縣出身)
警長　新堀　榮(茨城縣出身)
警長　後藤　秀雄(靜岡縣出身)

昭和八年三月十一日
游動警察隊
職員一同

十日封切二日間日曜晝夜
現代映畫　生さぬ仲
岡田嘉子、飛波雪子、澤讀二、結城一郎、奈良眞養、阿部正三郎、小島壽子、葛城久子、
時代映畫　いざよい砧
市川右太衛門、歌川絹枝、柳さく子、井上久榮、堀正夫　共演
次週豫告「また逢ふまで」
長春座

幕末異聞

愛慾火箭（上）

作　瀧川駿
畫　村瀬洗舟

馬淵の夜（一）

どんより曇つた春宵、一兩日降るのか、生温い微風が街にそよぐ。その、萬延元年卯月十二日かれこれ五ツ刻に近い頃、雲州松江の城下はづれ、手間天神の境內、菅公様の祠にある、宍道湖を見下した風流な一構へ、料亭『ひさご』の座敷へ、

『御免……』

黒羽二重の着流しに、宗十郎頭巾を冠つたまゝ敷居を跨いだ一人の武士があつた。若いと言つても二十四五歳、色の白い、鼻筋の通つた立派な人品だが、何となく憂ひに窶れ上つた瞼に何となく陰が漂ふてゐる。

『これは御門様、皆様がお待ち兼ねで御座います』

雲州藩家老職、知行千石といふ雲州藩の重役、御門備後の嫡男なので、主人は下にも置かぬもてなし振り。

『皆様はもうお揃ひか？』

優い顔だが、反刀のある落付きを思はせる。

『はい、先刻からお待ち兼ねで御座ります』

主人の善助は、手を突かぬばかりに案内した。

『では！』

大刀を鞘抜きに取つて、右手に携げ、頭巾を冠つたまゝ奥に通つた。

廊先には、盛りを過ぎた櫻の大木一本、吹く微風は花片を運ぶ。

『御門氏待ち兼ね申したぞ』

『いや、お待たせ致した』

輕く會釋して頭巾を取つた。漆黒な縮れ毛は額にかゝつてゐた。

雲州藩を代表して、江戸へ時勢の研究に行つてゐた、御門興四郎である。

今宵の會合は、雲州藩の勤王派の第一回の會合であつた。勤王、佐幕の二派に別れてゐる雲州藩の正邪を誅すべき會合なので先づ興四郎の意見を聴くことにして、江戸の形勢を聞くことにして、

『江戸の風は寒氣を孕んでゐる、そして徳川幕府は倒壊の一路を辿つてゐるのだ』

『何を言ふのだ、幕府が倒壊の一路を辿つてゐる？　馬鹿な、一片の黒船騒ぎで、さう容易く三百年の歴史を有つ徳川幕府が倒壊する理由はない』

起ち上つて叫んだ興四郎の言葉に反駁したのは、御使番八百石内藤兵庫の伜、源之進であつた。源之進は當年二十七歳、藩では屈指の國學家と言はれてゐた。しかも劍道は神影流、目錄以上の腕前であつた。

『天下の輿論だ！』

『輿論とは？』

『僕も俺も一時に喚く、欲深い田舎に居られては、天下の形勢は解るまいが、他藩は既に勤王の旗幟に就いてゐるのだ。既に長州藩では英艦と砲火を交へてゐるのだ』

『それ一事で、倒幕の徴だと言へるか？』

『如何にも、たとへ一小藩なりともこの一事を見ても、如何に幕府が無能なるかを暴露してゐるではないか』

俊才と秀才との一騎打、互に譲らうとせず、口角泡を飛ばして論じた。

正視したまゝ興四郎は、眉一つ變へずに、時局を説いた。

『長州に於ては、高杉、久坂の手に依つて攘夷討幕の狼火が上げられてゐるのだ。如何に小さな火くずでも一つでも大火の原因となり、ほうろく火箭一筋は、藩論の口火となるのだ！』

『うむ』

流石の尚早論者、内藤源之進も遂に興四郎の熱辯に動かされた。

廟議一決、勤王と定まつて、宴は開かれた。

夜に入つて雨になつたと見え、細雨を叩く雨蛙の音が微かに聴く。

思はず過ごした酒の酔ひに、興四郎は障子を開け放つて、闇に見入つた。宍道湖の水……

新三月十二日　舊二月十七日　日曜　丁丑　赤口　開　房宿

●一白の人　折角の望みも叶ふやうに捗らず不快なる日　己と辛と亥が吉

●二黒の人　何事も誠意が肝要射倖心を起せば大敗あり　丙と丁と丑が吉

●三碧の人　我意は一切無用たるべし金談成らず損あり　庚と亥と壬が吉

●四緑の人　一時の苦勞は脫れたりとて油斷せぬが安全　乙と庚と亥が吉

●五黄の人　力を振はんとすれば失敗す定業を守るべし　乙と丙と丑が吉

●六白の人　伸力の盛なる日　勉めて積極的に處理すべし　未と丑と寅が吉

●七赤の人　業績次第に擴大すべし萬事の計畫其他吉し　丙と未と寅が吉

●八白の人　愼重に進むべし　一時の頓挫に落膽せぬこと　乙と丁と丑が吉

●九紫の人　縱横無盡に活動せらるゝ盛運の日勉むべし　甲と乙と戌が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行（毎偶數日午前十時出帆）

香港丸　三月十四日
ばいかる丸　三月十八日
亞米利加丸　三月二十日
うらる丸　三月廿二日
はるびん丸　三月廿四日
うすりい丸　三月廿八日

●切符發賣所　滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビユーロー案内所

船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）

●専屬荷扱所　各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社　大連支店　電話四三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二三一六番

銘酒　月ヶ瀬　釀造元　森川新京支店　曙町二丁目　電話三八〇八番

歯の爲に

朝　ライオン歯磨

晩　ライオン歯磨

本舗　小林商店　東京・大阪・名古屋

初心者ニハ御電話次第御指導ニ参上致シマス

「カメラ」と「ガクブチ」は乾寫眞館販賣部を

新京吉野町二丁目　電話二三九〇

僅かの電氣料で御飯が美味しく炊ける

文化『かまど』と保熱釜

萬能七輪

電氣コタツ

其他電熱器各種多數入荷

電氣の店　日本橋通　和登洋行　電話二〇四〇番

營業案內

軍隊兵器手入材料揮發油、酒精、染料、膠

日本ペイント塗料カーバイトシクラツノ

兵器及工業用諸油工業用品、各種ウエス

陸軍諸官衙御用達

田中商會新京支店　富士町三丁目十番地　電話長三四五八番

本店　旅順乃木町三丁目

支店　奉天平安通十一番地

製材及原木……

出張所・城內五馬路大通西南

石田材木店　電話二八八一番

斷然フレッシユで流行の魁けをする

ネクタイ、ワイシヤツ

中折帽子、鳥打帽

既製洋服、既製靴

新京日本橋通　平本洋行　電話二一五八番

食卓を賑はす水晶米の特賣

三、無砂米と混砂白米との優劣は御説明申上げるまでもなく余りに明白と存じます

二、石粉を全然使はぬ精米工場が愈々完成致しました製品に一層改善を加へ

一、普及のため左の條件で特賣致します台所經濟合理化の第一歩として是非御用命御願致します

水晶米二千叺（三月十日より向ふ一ケ月間に限る）

一等　壹圓景品券　六十本

二等　五十錢景品券　百四十本

三等　四等　とも空籤なし景品券は叺の中に入れてあります

發賣元　富士町四丁目　福田商店精米部

三笠町四丁目　日隆號精米所

特約店

今田商店　二九三三
日華洋行　三三四三
德本商店　三四三一
調辨所　一〇七三
丸德商店　二二三三
丸平洋行　二六四〇
淺野商店　二三六八
坂本商店　二九四一
三浦洋行　二五六七
清家商店　二九八六
杉尾商店　三四〇六
（イロ順）

各位の彌增す御健康を祈る

盛京時報

本社　奉天
支社　大連　新京　哈爾賓　大阪

創刊明治三十九年、滿洲に於ける漢字新聞として最古の歴史を有し、多年扶植培養せる信望と勢力とは確固不動、滿洲及び北方支那の言論界に於て、斷然之の王座を占む、實に滿洲の文化的開發と指導の最高權威也

美酒佳肴

會席御料理　長春座裏　やよい　電話三四九〇番

海陸物産　和洋酒類　食糧鑵詰　燐寸雑貨

卸問屋　（フ）　福田商店

新京日本橋通七二

柑橘外青果委托賣買

電話四二九八〇番・電略（フ）又は（フフ）

本店、安東縣。支店、奉天、新義州

會席料理　大辰

三笠町四丁目十四番

電話二九八八番

新京日日新聞
定價 一箇月 金八十錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 三〇〇〇番・二三二五番
發行人 十河 榮男
編輯人 松本 啓二郎
印刷人 谷

今印 白米
千葉商店 精米部
電話二四二一番

赫々たる偉勳にかゞやく
武藤軍司令官凱旋
小磯參謀長以下幕僚を隨へ
沿道歡呼に滿つ

熱河討伐作戰指揮のため總司令部を錦州に移した、關東軍司令官武藤大將は皇軍の赫々たる偉勳により豫期以上の短時日を以て忽ちに平定、ここに戰況一段落を告ぐるに至つたので、十一日午後四時五十分新京驛着特別軍用列車で小磯參謀長、岡村同副長以下幕僚を隨へ堂々凱旋した

疲勞の色もなく 一行極めて元氣

これより先き驛プラットホームには偉勳に輝く一行を迎へんとして鄭滿洲國々務總理以下各部總長その他日滿要人を始め官民有力者、各官公所長各種團體代表整列し、やがて下車した、武藤大將始め幕僚には何ら疲勞の色もなく極めて元氣に擧手の禮をなしつゝ貴賓室に入り、軍差し廻しの自動車で驛前廣場から沿道一帶に亘る一般市民の歡迎裡に官邸に入つた

蔣介石の責任と 西南執行部空威張り

〔廣東十一日發國通〕西南執行部では、今回熱河を失つたのは蔣介石に責任があるとふので、次の如き電報を蔣介石に發すると共に、これを全國的に通電した

熱河危急を告ぐるや、湯玉麟は逸早く承德を棄てゝ後方に晦走し、これが爲め前線の總軍瓦壞となり、敵軍と戰ひを交へずして熱河に侵入せるは痛憤に堪へざる處なり、かゝる大敗戰の原因は貴下の不抵抗態度にあり、長に山海關陷落し、これを抑民衆つて憤激し、これを抑めんことを揚言せるに拘らず、日本軍に應戰旬日を出でずして貴下は剿共に名を籍り南昌に逃れ何等爲す處なし、しかのみならず貴下が密に日本と妥協を計れる事實南北に傳へらるゝや、忠勇なる第一線の軍民は敵彈に曝され、奸謗の徒輩は敵を誘致して內部を亂れり、これがため湯玉麟の逃亡となり、前線軍心の恐慌を來せるの罪は一に貴下にありとす、今や民族を危急より救出するの責を負ひたるに非ず、就ては過去の過ちを清算し大軍を北上せしめ以て强敵に對抗せられたし、西南側は救國抗日の素志を貫徹する決心を有す近く最後の態度を決し軍を北上せしめ共同して敵に抗せんことに決定せり、茲に貴下に對し最後の忠告を呈す

灤河以東を緩衝の地帶に 運動やうやく擡頭

〔山海關十一日發國通〕山海關治安維持會の某々有力者各委員は塘沽經由秘密裡に天津に赴いたが、出發に際し同人等の語るところによれば、天津には已に灤州、昌黎、秦皇島各地の代表が參集し居り、打揃つて當局に對し戰禍の關內に波及せざらんことを請願する由であるが、事實は支那軍を灤東地區より撤退せしめて日滿軍の進入を避け、軍事的問題を起さず、況や北寧沿線の如き滿洲國領土に包容されたゞ全く同樣である地點に於ける益なき戰爭を避けて居れば迫害等を免れ得べく已むを得ざれば灤河以東を事實上の緩衝地帶として永久の樂土たらしめんとする運動を起さんとするにあると

張學良遂に飛行機で都落ち

〔北平十一日發國通〕親子二人揃つて、日本軍に楯を突き淸算さるべき奇しき運命にあつた學良は遂に今朝七時四十分淸河飛行場より上海に向け出發した

中央政府に嚴重警告を發す

〔北平十日發國通〕長城一帶に積極的に集結しつゝある支那軍の行動に對し、我外務省は中山書記官を通じ、張學良に對し十一日朝警告を發する豫定であつたが、形勢一變して學良の下野となつたので、中央政府直接の抗日となり、學良警告は多分中止となり、中央政府乃至は何應欽に對して、より强硬なる警告が發せられるに至るであらうと見られて居る

北支の全軍政權を掌中に收めた 蔣の手際は鮮やか

〔北平十一日發國通〕學良の政權沒落して北支の地盤大混亂に陷り、反蔣運動峰起等をも豫斷された、此の北支の非常時に、蔣介石が學良から形式的に申出たばかりの引責辭職電報をギユツと握りしめて放さず、あつさり之を容れて、學良の圓滿下野を餘儀なくせしめその軍權、政權を一まとめに有無を云はせず中央政府の手にころりと轉げこませた此の手際は流石鮮やかなもので、天津邊りに策動する職業的政治屋の一群、扨ては馮玉祥、韓復榘、閻錫山等虎視眈々たる大小軍閥の何れにも、未だ一指を染めるチヤンスを與へずしてやつた此の手際は、總司令部を石家莊に、前線總司令部を北平にと大上段から構へた徹底抗日戰の擬態に加へて人氣はいやが上にも蔣介石一人にのみ集り獨裁的覇權は遂に彼蔣が幾年來の念願だる、政權を長城壁まで延長の企圖を達成したのであるが、北支を完全に入手した彼が、日滿支の微妙な關係を如何に取扱ふか、今後の重點はここに置かれる

三省に共產政治

〔南京十一日發國通〕民國共產黨の中には蔣介石と妥協贊否の三派ありて、毛澤東の如きは內治維持の爲め少くも表面上蔣と結ぶ策謀で、政治部副主任徐を派して蔣と重要會見をなさしめ、湖南、福建、陝西の三省に一時的に共產的政治を施行し得るの內約を成立せしめた

熱河失陷に 宋子文の失言問題 天津方面で非難高し

〔天津十日發國通〕宋子文が曩に上海で、熱河は一週間かゝつても十日以內に失はれるだらうと云ふ、ここに對し、天津方面では宋に反感を抱き、同人は行政院長代理として北支に行き多大の國帑を抗日の爲めに費し乍ら、一向目的を達する意思なかりしを以て、大公報の如きは宋の不信を憤り、斯くの如きは國家の威信を失墜するものなりと難詰してゐる宋は天津銀行團と契約して救國公債を發行することになつてゐたが、熱河の敗北で此れが中止となり、一般民は寧ろ安んでゐる狀態であると尙天津の某要人は國際聯盟は宋の言質に基いて行動したところが多かつたので、宋は自信をつけ、熱河で能く抗日滿軍に抵抗して、國際聯盟の活動を誘發すると共に、日本軍を關內へ引入れ、北支に利害關係ある英米以下の諸國をして干涉せしめんとの魂膽の下に軍備を充實し、熱河省に自ら主り將卒を激勵したが、旬日ならずして脆くも敗退したので上海に於て無責任な言辭を發したのだらうと

戰跡史詩（三） 小川運平

二月十二日と二十四日

二十三日成田君來訪す、十五年振りの邂逅、懷舊談最も有益なり、廿四日答訪すれば、歡待頗る快適なりき、驛頭に躑躅の記事を見て、兼ねて聞きつゝある事なり、長沼治平は、熱知の一柄なり、而も明治廿八年二月十二日、長驅して此范家屯北の敵壘を破壞したるか其地に鑑み、廿九年前の、奉天以前、日露戰陣を思ひ來らずんば、其功績を感得し得ざるなり

吾は其時、大連より旅順の沈沒軍艦引揚作業の爲め、一週間を隔てゝ出張中なり、ミスチエンの騎除營口襲擊も、長沼挺隊の遼襲も、實は夢物語三國史を讀む程度の感情なりき。

二月十二日、京城の浦尾旅館にて、杉浦天基の逝去を、南山老人亭上數百羽の鳥、吾頭上を旋舞するを仰望して、豫感したる凶日なりき、三年後は、老母と永訣の日なり、新開河奇襲、は二月廿四日なり二人の青年將校を喪ふたるなりき、感慨多き成田邸にて、一詩を賦す所以あるなり。

新開河件一大屯（范家屯三四千人口大豆集散地なりき）衝破背能爆破敵、蒙江東路壞西雪

長沼挺隊戰功存

詩は詩にあらざるも、十郎邸記念の繪はかきこそ、教材にあらずやと、二十四日か、君よ、十年前月は異れど同じ日は、灤州に郭松齡謀叛の日にて、張學良は俎上の人、日本人に救はれ、今日日本を呪咀するとは、柳河事ぞ、醉餘の憤慨、其後十日、能く我が軍は、既に朝陽、北票の線に突入して、匪群の一線擊破の日ならんとは、過去世の因緣、因果輪轉、恐るべく、畏ふべし、天を畏れず、聖人の言を畏れず、此こそ、罪界の醜骸のみ。

熱河戰勝の五絕

我か軍旣に動く、善謀善戰の其人ありと雖も、吾人親しく新京の地にある、幾多の見聞する程、更に憂慮なき能はず、四日確に、熱河は我先遣川原隊の入城と、五日夜知り、六日愈々各線前進、連絡成るを知り、三日中、[illegible]の勢響、[illegible]

五日、六日の晩には、喫飯一酌、皇軍戰勝五絕を直吟して推敲もせず、小磯參謀長閣下に祝意す蓋し、全軍に感謝の意を表するなし、夜來感湧き、眠ならざるも、三十葉の原稿書きに激昂歡喜よ新聞すら讀む暇なく、晩景まで永餞す、校正や、宣詩や、郵信や、吾又狂せるにあらむや、去りとて、皇軍の勇しさよ、日本國運の隆盛さよ、國民の幸福よ。

如此にして、始めて列强を率ゆる、民力ある日本帝國よ、亞細亞民族の盟主よ、天命人夫れ之に代る、皇國、神州男子よ、此觀感に、詩句もしき五絕を得たるも、詩人にあらざる吾は、之を吟詠すべく拙劣なる詩なり、讀者幸に叱正と、教育を吝む勿れ。

旬日長驅千哩程、紛膽既破我勢響、[illegible]驚嘆神如兵。

其二
天兵驟起疾於風、衝敵破陣精門高旭旗風。

其三
將士義肝四戰中、陰山白雪伐元戎、鐵火爆藥堅城落、承德有殉不論功。

其四
孤軍塞外似陣中、壩感攘夷如吹蘆、義烈殉君鬼又淚、楠公地下淚葵忠。

其五
隣國淮構敵梅東、小才好戰事架空、龍沙雪月映寒骨、不知天譴與莫測。

娛樂と詩吟

梅惣杉浦兩翁は、門生に詩吟を奬勵し、今も裥好熱は吟詩の本場なり、稚い頭に於けるも、人々娛樂の少なきを嘆す、吾は之を讀書と茶園と共同娛樂にありと云ふ可からず。熱河戰捷、平定の軍士の苦勞に代るに、今後、永久に大和魂を以て、滿洲國を教化する大責任は、前線の滿洲在留民にあり、植民增加は日本人の一大責任なり、勞務なり、精神修養は、刻苦より來る、剛勇鍛錬は、人益と天然の戰鬪か、馴化の勇猛政化に因らざる可からず。

熱河戰捷の感喜と共に一言の蕪辭を付す（三月七日）

來る二十日前後に 正式脫退手續 十一日の閣議にて 御諮詢と決定す

〔東京十一日發國通〕政府は愈々十一日の閣議で聯盟脫退を樞府に御諮詢の手續きを執ることに決定した、樞府では御下問を待つて直ちに平沼副議長若くは倉富[illegible]太郎子外委員とする九名の審査委員に附託審議する答であるが、樞府としては脫退後の外交方針及び聯盟より日本代表引揚げ後の大使館の對日方針其他に就いても充分當局の所信を糺しておく必要あるから、審査委員會も兩三回開かれ、首相、外相よりは政府の所信を明示することゝなるべく來週中には審査終了、二十日前後には聯盟事務局に正式に脫退手續を執る段取りとなるう

煉瓦の注文殺到 新京土建界の活況

本春解氷期をまつて愈々國都建設工事も着手されることゝなり、又一般民間側の諸建築工事も一齊に開始される結果は、本年の新京、土建界は素晴しい

『活況』を呈するものと思はれるが、これら一般工事の使用材料中最も重要視されているのは煉瓦である官廳及民間側の本年度確定注文數量は既に六千萬個を突破せりと傳へられ尙續々と注文殺到すると聞く今左に新京に於ける煉瓦製造業者の一ヶ年の高を示せば即ち乙等五工場に於ける一ヶ年の

『製造』高は約四千四百萬個となるが既に今日迄の注文高は六千萬個に達してゐるため到底該工場だけではその全部の供給に應ぜられない現在にあるので此の機に乘じて、各地方から同業者の新京進出或いは又新設計畫が企られるなど激しい競爭が行れてゐるが、既に諸般の準備をすまして

『四月』頃より製造に着手し得る新工場は左の如くである

一ヶ年間の製造能力
新京萬和窯業公司 約一千萬個
滿蒙窯業公司 約一千萬個
安東窯業公司 約一千五百萬個

右三公司の出現によつて新京土建界の煉瓦拂底も緩和さるものと見られてゐるが、然し各營業者は各々の營業政策上組合組織を

『回避』し利己主義營業に出づる傾向があるので今後の斯業界は工人爭奪、其他營業に關する種々の紛擾が豫想せらる

蘇支の經濟提攜 漸く緊密の交を加ふ

蘇支國交恢復に伴ひ兩國の經濟的提携は愈々緊密の度を加へつゝあるが最近に於ても左の如き諸點を看取することが出來る

一、支那側當局は蘇支貿易增進のため中央實業部內に中俄貿易局を設置した

二、對蘇產業視察團の派遣計畫は愈々具體化し目下上海西門方濱路に在る大雅社をして希望者勸誘募集中にして上海に於ては既に三十名の參加希望者あり、又南京杭州、蘇州方面に於ても相當の希望者ある見込にして四月下旬、若くば五月上旬出發の豫定である

三、蘇聯邦は蘇支貿易の促進上、最近支那商の金融難に陷りたることに着目し極東銀行をして支那貿易業者に對し積極的の金融緩助をなすべしとの指令を發した

瀋海沿線の出廻り 各地とも盛況

〔奉天十一日發國通〕瀋海沿線には尙時々兵匪出沒しつゝあり、各種產業は着々復興しつゝ農產物の出廻て各都市とも活氣を呈してゐる二月中に瀋海線で發送された大豆高粱豆粕は一千車を越え、尙續々發送されてゐる、即ち

海龍驛發送高	四一九車
驛有高	二〇車
市內有高	一一八車
山城鎭發送高	一〇一車
驛有高	三六車
市內有高	三六車
市內有高	五〇五車
朝陽鎭發送高	四〇二車
驛有高	六八一車
市內有高	一〇三二車

二月末現在 四平街戶數人口

〔四平街支局發〕中部驛の大都を目指して躍進を續けてゐる四平街人口は滿洲事變後一時急速的に膨脹を示したが奥地への交通と居住が自由に成つた爲めに北滿方面の第一線に進出する人々も相當の數に上つて來たゝめ現在では其の傾向も薄らぎ急激な變化もなく漸增の狀態である二月末現在の統計は

戶數

內地人	一、〇九八
朝鮮人	二五七
滿洲人	一、五四六
外國人	四
合計	二、九〇五

人口

	男	女
內地人	二、二七八	二、〇七九
朝鮮人	六八九	五九〇
滿洲人	七、八二七	二、六五五
外國人	三	五
合計	一六、〇八六	

賣買爲替內容を報告さす

〔東京十日發國通〕對米爲替再開の場合不自然なる投機を抑制する爲め大藏省では本十日資本逃避防止法で爲替銀行に今後は總て賣買爲替のみならず賣買爲替の內容も翌日直ちに報告せよとの命令を發した

獨逸聯邦制を撤廢し 單一中央政府制にするか

〔ベルリン九日發國通〕ヒツトラー派パーペン內閣は國際の情勢を機に一氣に地方政權を奪取し遂にバヴアリヤ人民黨の牙城バヴアリヤ洲政府をも其の統制下に收めたが、バヴアリヤ洲に對する黨完成の實施を第一歩とし、現在の聯邦制を撤廢し、バルリンに單一の議會を設置し全獨逸を通じ、單一最高當局即ち中央政府下に獨逸を統一せんとすることが明となつた

人事往來

▲荊雅野氏（江省警備騎兵第四旅第十二團長）十日午前五時來京
▲小磯參謀長（關東軍司令部附）十日午前八時歸京
▲上野又七氏（關東軍憲兵隊司令部）十日午前八時四十分哈市へ
▲秋山兼雪氏（哈爾賓總領事）十日午後四時奉天へ
▲山中[illegible]課長（[illegible]）同上
▲陳子珍氏（滿洲軍第二軍司令部上校副官長）同上
▲中山健二氏（步兵第二十[illegible]聯隊長）十日午後五時三十分哈市より來京同四時三十分發奉天へ
▲三宅勉一氏（陸軍省恤兵部）同上
▲于百清氏（江省騎兵第一團中校團附）十一日午前五時來京
▲兵頭周吉氏（奉天衛戍病院長）十一日午前八時四十分發哈市へ
▲中川守氏（新京細菌檢查所員）奉天鐵路總局へ轉勤につき挨拶かた〃來社

天氣と氣象

けふの天氣南西の風晴れ一時曇
十一日氣溫最高零下二度九最低零下十五度一

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 [illegible]
同 遠限 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]

▲印綿
スチール株 [illegible]
アナゴンダ株 [illegible]
ベンゴール [illegible]
ブローチ [illegible]
オムーラ [illegible]

▲上海標金
昨引 [illegible]　高値 [illegible]　安値 [illegible]　本寄付 [illegible]

▲上海日本向
昨引 [illegible]　高値 [illegible]　安値 [illegible]　本寄付 [illegible]
第一回 [illegible]　第二回 [illegible]　第三回 [illegible]

▲上海倫敦向
賣値 一志九片[illegible]　買値 一志九片[illegible]

▲上海紐育向
賣値 [illegible]　買値 [illegible]

▲大連鈔票
物 [illegible]　近 [illegible]　付値 [illegible]

▲大連上海向
引 [illegible]　高値 [illegible]　安値 [illegible]　出 [illegible]

▲大連煙台向 [illegible]

▲大阪株式
▲同 短期
[illegible]

各地市場

▲大連株式 [illegible]
▲大阪三品 [illegible]
▲大阪棉花 [illegible]
▲大阪期米 [illegible]
▲仁川期米 [illegible]
▲橫濱生糸 [illegible]
▲神戶豆粕 [illegible]
▲大連特產 ●大豆 ●豆粕 ●豆油 ●高粱 [illegible]
▲哈爾賓特產 ●大豆 ●小麥 [illegible]
▲大連麻袋 [illegible]

新京市況

大豆 現物 [illegible]
高粱 物現 [illegible]
錢鈔現物 [illegible]
鈔票 [illegible]
國幣 [illegible]
大洋 [illegible]

熱河征戰中では最もはげしき戰ひ
高田部隊五時間に亘つて頑强なる敵軍と交戰

〔赤峰十日發國通宮崎特派員〕歩兵部隊として二日深更赤峰に入城先頭を承はつた〇〇團の高田部隊は休養の暇もなく四日午前八時手兵をすぐつて自動車隊を編成闖場方面の孫殿英軍及湯占海、宮長海、劉振東等の殘兵を掃蕩すべく

『征途』に就いたが西の方六里餘の地點から中斷をなす敗殘兵に追擊戰を開始し敗亂する敵には目もくれず眞しぐらに目指す孫殿英軍に向ひ急追を行ひ其夜は未知の小部落に宿營六日午前八時半西進したが永全德部落(赤峰西方十八里)通過間もなく自動車隊は道路左側に散在する部落を占領警戒せしめ、第二の左側散在部落を通過し第三の部落を通過し終るか終らぬ頃丁度本隊が第二部落を通過せんとするや第三部落より敵の猛射を受け茲に熱河征戰中

『最も』激しき戰は展開された 高田〃隊長は直ちに全員を指揮して第三部落(實は堅固なペトン壁で圍んだ營舍)に向つて眞向から散開應戰を開始追擊砲及重機關銃は道路右側五十米餘の高粱畑の中にある高地に陣地を敷き猛烈に兵營に向つて射擊を加へたがペトン壁强く敵は營舍内より猛射し來り我軍攻擊に轉じ午や肉迫戰を演じ、一兵に至るも敵兵營を乘取らず外なしと決心した高田部隊長は全員に前進命令を下し道路より三百米餘りの兵營に向ひ

『漸次』接近して行つたがこれを見るや敵は散在する第四部落(二百五十米餘)より我側面の攻擊を開始し來つたが高田部隊は直ちに一部を割き迫擊砲や機關銃を以てこれに應戰を命じ部隊は更に百五十米餘の近くを兵營に接近した此の時第五部落の敵は我兵士の追擊砲機關銃の左側より包圍隊形を取つて追擊し來つたが我軍の射擊は愈々精密確定の度を加へ來り敵をして接近せしめない此の間兵營方面は高粱がらを楯に前進五十餘米に接近したと思ふや約二千餘の

『孫殿』英軍は、こはかなはじと南方裏口より後方五百米餘の高地に向ひ、一部は西方第四部落に向つて雪崩れを打つて潰走し、後左右三側の畑地より前進し來れる敵も浮足立ち退却し、午後時時半激戰五時間にして全く退却してしまつた此の戰闘における我軍戰死十二名、負傷二十五名で熱河征戰開始以來最も激戰を交へたもので敵、巧妙なる作戰を用ひ、我前哨が通過するも沈默を守り本隊正に通過せんとするや猛然射擊を始め我兵兵舍に向つて

『前進』を開始すれば遂に第四部落兵を以つて道路右側の高地を占め挾擊を加へんと企圖した然し我が追擊砲機關銃が高地に逸早く陣地を構へた爲敵は作戰通りに行かず敗走の已むなきに至つたもので、敵は兵營内に居て死傷者が無かつたが後左右側畑地に進出せる敵兵五百餘は瞬く間に迫擊砲、重機關銃の洗禮を受け、死傷約百二、三十名を算した高田部隊は名譽の死傷者を後送一部の保護隊を附するのみで、本隊は直ちに敵を

『迫擊』し、遂に敗亂する敵を追擊して止まる餘裕を與へしめず同地を占據して高田部隊は五時間に亘る激戰で彈藥を殆んど射ち盡した爲、七日赤峰よりの彈藥補充を待つて目下附近の殘敵を殲滅中である

尙若干の敗殘兵あつたが、大部分は我軍の攻擊に東北方に退却中であるが、吹雪のため詳細不明である

日本の赤峰領事分館 支那軍に掠奪さる

〔赤峰十日發國通〕日本領事館赤峰分館は支那軍により掠奪を受けてゐることが、我憲兵隊によつて發見された

赤峰口と董家口を服部部隊占據す

〔錦州十一日發國通〕飛行機の齎らした報告によれば、昨十一日服部部隊に屬する松野尾部隊は赤峰口を、米山部隊は董家口を、孰れも占據し確保してゐる て左の報告を齎らした 湯 山南方二十キロの半拉山より隆北に至る間には敵兵散在しあり、雖十山にも

王以哲軍後方には督戰隊を配備
敗走の味方を射殺頑强抵抗

〔錦州十日發國通〕長山谷の敵狀につき情報によれば、王以哲軍の實際兵力は傳へられたより遙かに多數ある模樣にて、尙續々後續部隊を繰出して居り、又後方には督戰隊を配して敗走する味方の兵をも片ツ端から射擊し以て前線將兵を激勵應戰に努めて居る滿州に結集せる蔣介石の中央軍は、續々戰線へ繰出され同方面の空氣は、益々激化の模樣である

服部々隊の後方に突如敵軍來襲
直ちに擊退さる

〔錦州十一日發國通〕十日未明各々二百の敵は突如服部々隊の後方に逆襲し來り、混戰亂闘を演じたが、十日午前八時之を完全に擊退した、尙服部々隊は昨朝來第二關内の敵兵に對して全砲兵及重機關銃を以て攻擊を開始したが、敵軍は嶮峻なる山地に依據して頑强に抵抗を續けた、然し我軍は再三再四突擊を敢行し遂に正午完全に之を占據した

服部部隊長 元氣益々旺盛
凍傷を物ともせず陣頭に立つて奮戰

〔喜峰口十日發國通〕冷口より强行軍を續けること三日、喜峰口に到着した、服部部隊長は凍傷にかゝり、顏面紫色にはれ上り、軍醫の手當を受けてゐるが、元氣旺盛で自ら陣頭に立つて部下を指揮してゐる

滿洲國軍各隊 赤峯に向け進擊

〔赤峰十一日發國通〕滿洲國軍の各支隊は續々進擊中で洮遼軍第十支隊興飛軍代興隆地の西方十里の十二臺子に、第三支隊劉茂義軍は與陰地に、第四支隊德銘勳は八仙洞に暫駐、第三支隊索景清軍は下窪に何れも十日夕刻夫々到着し赤峰に向け行軍中で、これに呼應して建國第二軍は寳國の南方約十二里崇古營子に到着、引續き赤峰方面に進擊中である

我飛行隊の偵察

〔錦州十一日發國通〕昨十日熱河西北部及中部は寸前の先も判別せぬ程、物凄い吹雪であつたが、我飛行隊は此惡天候を物ともせず敵狀を偵察し

學良尙も懲りず 挑戰抵抗を嚴命

〔山海關十一日發國通〕天津消息によれば張學良の下野說は八百長だと信ぜられてゐる、又學良は北平、天津の外人環視の中で引續き反日民衆團体等の運動を取締つてゐるが前線各部隊長に對しては、日本軍に對し出來るだけ挑戰抵抗し、關内に敗走したるものは嚴罰を以て臨むと密令を發してゐる模樣で、我が第一線將士は長城の線を挾んで敵と睨み合ひの對峙を續けてゐる

驕兒學良の「悲劇は遂に終幕

〔北平十日發國通〕石家莊に於ける蔣張の歷史的會見で、蔣は學良に對し銳き口吻を以て難じ立て、遂に怒罵の聲さへ會見室外に洩れたと云はれ學良は茲に至つて、心ならずも北平軍事委員會代理委員長の職を去り、自ら第十六師を率ゐて承德奪還に當ると申入れたが、蔣はこれを心良く容れず、追及止まざるため學良もやむなく政權、軍權を中央政府に返還し、一平民たる可しと下野の決意を明にしたので、蔣も漸くこれで滿足し、斯くて此の張蔣の民國史上における劃期的會見は北支の驕兒學良の失脚を以て悲劇の幕を閉じた

徐庭瑤死守

〔北平十一日發國通〕學良に代り其の十六ヶ旅を指揮する何應欽から古北口の死守を命ぜられた十七軍長徐庭瑤は昨夕既に飛行機で着平、今朝直ちに古北口に向け出發した

各地の省民は「滿洲國を謳歌
―張海鵬將軍語る―

〔赤峰十一日發國通〕赤峰に入城した張海鵬將軍をその宿舍に訪へば語る

余は執政の命を受け討熱河前敵總司令として出陣、ここに二旬、余の指揮する各部隊は友軍と協力、全省平定の目的の半ば以上を達した、余が通過し來れる各地の省民は何れもこれから滿洲國を謳歌し、湯、張軍閥の虐政を打つた滿洲國の善政を敬慕してゐた、余は今年六十七才、齢已に不稀に近しと雖も、一死以て皇上と三千萬民衆の爲熱河省に留まり御奉公する覺悟である

なる御奮闘により短時日間に占領せられし事に祝賀の意を表すると共に將兵各位の御苦勞に對し最も深甚なる感謝の意を表す(武藤司令官宛濟浦奎吾氏)その他北海道、朝鮮、臺灣等各地各團体より、感謝、祝電續々到着しつつある

萬福麟負傷
北平に潛む

〔喜峯口十一日發國通〕一戰を交へる勇氣も無く凌源脫走の第三軍團長萬福麟は、八日喜峯口を通過し關内に遁入して北平に引揚げたらしい、湯玉麟、張作相の責任問題が起つてゐる時、萬福麟の名が出ぬのは退却の際負傷したからだ

熱河討伐から歸順の申出が續出

〔錦州十日發國通〕今次の熱河討伐は皇軍並に滿洲國軍の威風堂々たる進擊振りに敵の被れる打擊は非常に大なるものであるが、一方王道樂土を揭げて立つ滿洲國軍に歸順を申込むもの日を追ふて多く、崔興武の歸順は既報の如くであるが、解國臣義勇軍は林東へ向け退却せしも遂に赤峰より林西まで逃げ込んだ石文華と共に歸順を申込んで來た

舊東北軍四軍に改編

〔天津十一日發國通〕舊東北軍は學良下野通電後四軍に改編され何應欽が統率指揮した左の四軍長が任命された

第一軍長 萬福麟
第二軍長
第三軍長 王樹常
第四軍長 何柱國

承德占領で關東軍司令部に
山と積む感謝祝電

關東軍にはその後承德占領に關する各方面よりの感謝祝電山と積りその數九十八通に及んでゐるが、關係者は應接に遑なき有樣である、その主なるものを擧げると左の通りである

一、光輝ある熱河占領を祝す(ヘルリン、ゴブルク)

一、承德占領の吉報に衷心慶賀に堪えず當地駐在員一同と共に熱誠なる祝意を表す(建川中將)

一、閣下並に麾下の忠勇果敢

閻錫山蔣介石と會見

〔太原十一日發國通〕閻錫山は本日太原を出發し、石家莊に赴き、蔣介石と會見の筈

滿洲國發展の座談會を開く
けふ一般講演會をも開催
滿鐵青年同志會の試み

滿洲國を如何に發展せしむべきか――滿鐵社內の新人連を以て組織される滿鐵青年同志會では十二日午前十時から新京地方事務所長室で滿洲國建國記念座談會を開催することとなつた、當日は滿洲國、新聞社、滿鐵關係その他各方面の士々招聘して日滿統制經濟を中心に各種問題についての討議に花を咲かせやうといふのである、なほ同日午後二時から新京女學校講堂で建國記念講演會を開き左諸氏の講演があり、終つて映畫「建國の春」全三卷を上映するはず

司會者 藤森 正平
一、開辭 長嶺 龍雄
一、滿洲國を樂土とするは誰か 菱田 讓一
一、東亞を亂す者 矢彥 孫藏
一、滿洲統制經濟の動向 北條 秀一
一、日滿經濟ブロックの危機 岡田 三郎
一、滿鐵特殊使命の發展 吉井 卓
一、結辭 西淵 淳

震源地は金華山沖海底

〔東京十一日發國通〕三陸地方地震調査中であつた中央氣象臺鴻富技師は本日左の通り發表した

今回の地震は曾つての伊豆地方のものより大きく、關東地震と同程度のもので震源地は金華山の北方海底の大地塊運動からだ、同地帶は日本で最も危險な地震帶で今後も何時大震災が起きるか知れぬ、この邊は海岸線V字型で澤山の灣があるため津波が起り易くなつてゐる

三中等學校の入學者全く決定
それぐ內報さる

新京商業、中學、高女の入學考査は既報の如り去る七、八兩日に亘つて行はれたが既に入學者も確定しそれぐ內報されてゐるが第だが三校の入學決定者を地方別に見れば左の通りである

地名	商業	中學	高女
室町	一七名	二五名	三五名
西廣場	二	二	一九
新京驛通	一	二	一
哈爾濱省	三	七	一三
吉林	三	二	二
公主嶺	四	四	七
四平街	二	六	二
昌圖	一	一	一
開原	六	四	一
奉天	一二	一	一
遼陽	一	〇	〇
鞍山	一	〇	一
海城	一	〇	〇
瓦房店	二	〇	〇
營口	一	〇	〇
大連	二	四	一
旅順	四	〇	〇
本溪湖	三	一	〇
連山關	一	〇	〇
靑島	二	〇	〇
朝鮮	二	一	一
內地	一五	七	九
鐵嶺	〇	一	五
公學校	〇	三	〇
計	九五	一〇〇	九九

陸軍大異動內容
三中將昇進は遲る

〔東京十一日發國通〕十八日發表の陸軍移動は荒木陸相以下陸軍首腦部愼重に詮衡した處夫々內定、三月の異動としては相當廣範圍に亘つてゐるが主なるものは參謀本部付松井中將が軍事參議官に、第一師團長林中將が東京警備司令官に、森中將が第一師團長へ、陸軍大學校長牛島中將が第十九師團長に、步兵學校長大谷一男氏は第十二師團長に、東京灣要塞司令官古川三郞氏は〇〇師團留守師團長に〇〇守師團原田敬一中將も某師團長に、大將級では軍事參議官井上幾太郞氏、鈴木孝雄氏が勇退して航空本部長渡邊錠太郞氏が軍事參議官となり、本庄中將、臺灣軍司令官、阿部信行三中將は大將に昇任したが、參謀次長の大將は妥當でないところから三中將とも昇進せぬ模樣、而して四月六日には奈良武官長が[illegible]明さなり勇退するが、その後任には本庄中將が親補されその頃には參謀次長も交代して差支へず三大將の親任を見やう、十二師團長杉山中將は中央部の某要職につくと見られ所澤飛行學校長廣瀨中將は大學長に、步兵第十二旅團長筒井步將は中將となり、步兵學校長に就任のはず

五十萬人の失業者救濟に
五億弗の土木事業
米大統領の新政策

〔ワシントン十日發國通〕米大統領は緊急金融恐慌匡救案に就き、恒久的匡救政策を建てて費用の大節減を議會に勸告したが、更に十一日議會に第三次教書を送り、五十萬人の失業者を收容すべき一大土木計畫を起すべき案を勸告することとなつた、此の計畫は約五十萬人の失業者を募集し、これを土木傭兵軍を組織し、これを全米各地の新土木企業現地に配備せんとするもので、其の仕事の範圍は公共土木、植林、防疫等に亘り、其の財源は五億弗の公債に仰がんとするものである

第二次教書で議會に

〔ワシントン十日發國通〕大統領は十日特別議會第二日の會議に對し、第二次教書を送り根本的强硬對策の一つとして即時政府財政上の均衡實現を期し、大戰出征軍人年金の削減並に官吏の俸給減額を即時實行すべき權限を議會に要請した、教書は年金並びに俸給削減に依る捻出額を明示して居ないが側近者の語るところに依れば、これに依り五億弗の財政緊縮を實行せんとするものである、第二次教書の內容左の如し

今回本年度末に於いて政府の歲入不足額は十二億弗の巨額に達する見込みであるが、此の財政不足を補塡する爲議會に對し豫算均衡の爲緊急的行動の權限をここに要求するものである、これ實に我が政府の安定にかかるところであり、苟しくも政府の安定に關する以上一部の利益は犧牲にせねばならぬ

年金削減と官吏減俸
米議會に上程

〔ワシントン十日發國通〕上院民主黨總務ロビンソン氏は大統領が十日議會に送つた第二次教書勸告に基き、退役軍人の年金削減並に上下兩院議員を含む官吏減俸を骨子とする緊急節約法案を議會に提出した

緊急銀行法
上下兩院を通過

〔ワシントン九日發國通〕下院を通過した緊急銀行法案は上院も通過、大統領は即日署名公布した、更に財務省の手續きを待つて十日から續々健全な銀行の開業を許可する段取となつた

青年訓練所申込締切

設立以來、此處に五周年を迎へた新京青年訓練所は市民の利解ある後援の下に優良なる成績を收め昨秋の事變當時の涙ぐましい活動に又は神社祭典の奉仕等設立の趣旨にもとづき第一線に立つて獻身的活躍をなしてゐるのでこれ等訓練所が其の目的を充分に達成するに必要な諸種の支援を與へるべく去る一月新京知名士の發起で青年訓練所後援會を組織し廣く市中にこれが會員募集を行つてゐたがいよく本月をもつて第一回の締切をなす事となつたので趣意贊同の士は此際速に申込まれたいと

日滿教育聯合會幹事會

新京日滿教育聯合會では十二日午前十時から城內西二馬路長春縣教育會で同會設立第一回の幹事會を開催する

熙洽省長も
震災の慰問電

吉林省長熙洽氏は森岡總領事代理を通じて齋藤首相に三陸震災に對し左の電報の傳達を依賴した

盬務對策改善
財政部で近く實現

滿洲國財政部に於ては客月下旬全國盬務會議を開催したが該會議に於て嚢に間島方面の私盬密輸狀況調査の爲め出張してゐた、國運局高谷總務科長、財政部田村國稅科長の兩氏から間島方面の盬務對策の改善が提案され其結果左の如く決定近く實施されることとなつた

一、昨秋延吉に設置された緝私局を盬倉より分離獨立せしめ緝私方面の統制管理を完成せしむ

二、緝私局の下に盬務總隊四ケを置き、その所在地を琿春、延吉、開山屯、南坪の四ケ處に定む

三、盬務總隊の下に更に二十余の盬務隊を置く

日本基督集會

日曜學校九時――十時朝の禮拜十時――十一時題「聖靈の傳達」吉川牧師 夕の禮拜七時――八時題「キリスト教と現實生活」稻治義一氏

省公署に秘書長
教令公布さる

十一日附教令第十七號として左の通り公布された

省公署に秘書長を置くの件案

第一條 省公署に秘書長(簡任)を置く
第二條 秘書長は省長の諮問に應し緊要の事務に參畫す
第三條 本令は公布の日より之を施行す

米國奉天副領事

〔奉天十一日發國通〕米國領事館勤務バインフェールド氏は今回駐奉米國總領事館副領事として着任、本日我總領事館に新任の挨拶に來た

中島記者放送

〔錦州十一日發國通〕服部部隊の行動開始以來、米山先遣部隊と辛苦を共にする本社從軍記者中島錦湖氏は十一日午前十一時より從軍感想を當地よりラヂオで放送した

▲赤玉から轉動して來た二葉のミヨ子嬢ってはその人ありと知られたすご腕のゴ人で物凄いエロザービスで助的連を吸引してゐるそうな……それでいま今に?……▲同じくレデルミ先夜上手ぶつて鼻高かヽ一時に四五枚の料理を運搬中、一枚のハヤシライスがぐわらやん……ウのまねする烏水に溺れる、そんなまねするんじやないよ▲一樂鶴太郎乃至ぬも沈默してますが何に感じたのでせう、道理で〇〇さんの顏色が靑くなつて來た▲最近又花柳界のお方達の入院者が殖へて來ました

女給數名急募
御望ミノ方ハ本人直接來談アリタシ
富士町三丁目三番地
サロン富士
電話三四五六番

原木製材
電柱枕木
杉丸太
枕木其他
秋田商會木材株式會社新京支店
新京曙町二丁目二六番地
電話二九六八番
本社、大連 支店(旅順 奉天 京城 青島 安東 下關)

滿洲の衛生生活について(上)

醫學博士　松浦有志太郎

滿蒙が日本國民の生命線であると云ふ事は民族の生理的自然の發展史の上から、我國民の他の亞細亞民族に對する歷史的の使命責任の上から、又は物資的經濟的生活の上からも眞理であり當然であらねばならぬと思ひます

×

却說それを實現さする爲には我々同胞が大數的に滿蒙の地に蹈み込み土着して農業勞働に從事し、そこで自給自足して子々孫々永久に繁榮する事それ自身が即ち生命線の實現であります

×

然るに從來過去二十餘年間の經過に徵しますと我同胞の滿蒙への移民は遲々として振はず豫後甚だ不良なるが如く見えたいして將來の希望を期待し續きものとして悲觀の說をなすものが少くない樣に見受けられます。その悲觀說の根據とする所は次の二點であります。

×

第一　經濟生活的原因　日本人と支那人との間には經濟生活の程度に於て甚だ大なる懸隔がある。支那の人は安い利益を得て商賈し、安い賃金に甘んじて勞働する。而して其數は何十萬或は百萬と云ふ數を以て年々山東省邊から洪水の如く這入り込んで來る。此の生活程度の低い國民と日本人は到底競爭して勞働なり農業に從事する事は叶はぬ、彼等の樣に生活程度を低くする事は到底文化の高き日本人の堪ふる所でない。

×

第二　衛生々活的原因　第一の支那人の樣な安價生活では到底日本人の健康が保てまい否巳に左なきだに滿洲の地は日本人に取りては甚だ不健康地である。滿鐵從業員の結核死亡率は內地平均の三倍に上ると言はれておる。可なり充分の俸給手當を貰ひ、可なり豐かな衣食住の生活をしておる滿鐵從業員の健康狀態るへも、斯樣であつて見れば今後農業移民としてはまだくずつと程度の低い衣食住に甘んぜなくてはならぬのは當然である。さればその健康狀態は一層甚だ憂慮すべきものとなるであらう。

×

以上二點が滿蒙移民悲觀論の主要なる根據であると思ひます。

併し斯樣な弱い事を言ふて居ては滿蒙の地は日本國民の生命線なりと云ふ樣な立派な言をなしそれ相當の事をけふ資格のなきものと自らを捨てるのではありますまいが

私は前述の悲觀論とは全然反對の意見を有するものであります。而してその論の根據として舉げられたる二個條は論者の大きな謬見でありまして之を是正する事は現下の時局に於て必ずしも無用の勞ではあるまいと信じますから次に私の說、いや恐らく大方正諦の士の等しく抱懷せらるるであらうと信ずる所の說を述べさして頂きます。

×

「先づ健康」とは至言であります。人間凡事善事の根本は健康增進にありと言ふても過言でない。然らば衛生々活を正しくすると云ふ事が人間善事の基であらうと思ひます。

「身體髮膚之を父母に受く敢て毀傷せざるは孝の初なり」孝は百行の本、忠臣は孝子の門より出づ」杯思ひ合せても衛生々活と道德生活が如何に密接なるものかが知られるであらうと思ひます。

然るに此の衛生々活を正しくする爲にはどうしても經濟生活を正しくせなければ不可能であります。正しき經濟生活とは何か……質素儉約の生活即ち安價生活であります人間は安價生活に就くにあらざれば到底その經濟を强固にしその健康を維持し又は增進する事は不可能であります。贅なる生活、浪費の生活即ち不經濟なる生活をなして以て健康でありたいと云ふのは木に椽りて魚を求むるより難い事であらうと思ひます。

×

滿洲の生活、殊に滿鐵從業員及びその家族方の健康狀態は甚だ面白からず、その結核病死亡率の如き內地平均の三倍に上ると言はるゝ程不良なるは此れ主として滿洲に於ける生活の贅澤が恐らく內地以上になつておるのがその原因であらうと思ひます。

家庭短行法典

□戸すべりをよくする法　雨戸や障子のすべりが惡くなつた時は、蠟燭で敷居の溝を數回擦つておくと非常に戸が輕くなる、角戸や障子の方にも蠟をつけておくと一層よろしい、油物をつけるのは却つていけない

□疊をきれいにする法　掃除の前に茶殼を撒いて掃くことは一般に行はれてゐるが、これと同時に一週間に一二回豆腐滓を布に包んで拭くときれいで見觸りも非常によくなる。

□天井や柱や障子の汚れ　天井や柱や障子などが汚れたのは見苦しいものだが、それは灰汁か石鹼水か曹達水を刷子につけて一方から順々に刷いてゆくと見違へる程きれいになる。

松花江便り(六)

吉林遊擊第二支隊長　日野武雄

彼等は平均五、六頭の牛を放牧飼畜して生計を維持して居る。バター、チーズ、カルバス等を製造して新京哈爾濱及び沼線に出してゐる、國を失ひソ聯に入るを禁ぜられてる(白系露人は云ふまでも無く)親兄弟を失ひ財產を奪れた者の行く道は卿であつた、そして有りし日の皇帝を思ひ彼等の家の中にはニコライ二世とクリストの像を飾り帝政ロシアの最後の守り人として佩簑を守つて居る

赤露には庄迫迫害され松かも支那滿人に經濟的に苦しめられて來た彼等に助むを求むべき者有りとすれば日本人を見出すより他に道は無いであらう。私は滿州撫順炭坑で數千名の白系露人を使役して居る事を聞いてゐる。誠に嬉しい事であると思ふ。要するに內地の資本流入して滿洲の治安恢復の元に重工業に農業に商業に凡ゆる方面に發展を見れば彼等を使用する道も多々あると思はれる。吾々は彼等が赤露に對抗したロマノフ王朝聖アンドレの旗を翻して獨立せんとする希望を有するものありと聞くが其の實現を見るには相當の苦心と歲月を要するであらうと思はれる。

此の牧場より引き返して再び中東鐵路從業員俱樂部の前に戾る、そして線路伝ひに松花江に足を向ける。線路の川邊に達する處、此處にコンクリート立の古代ローマの砦を思はせる橋頭堡が立つて居る。此れは日露戰爭以前より露國が東方侵略の野望を抱いて築き上げた名殘りでもり浦鹽港の繁榮のため、北滿に有する經濟的政治的地位を確保せんが爲に即ち中東鐵路の擁護の爲大なる犧牲を拂つて築いたものである、內部は二重の鐵骨コンクリートにて造り野砲重砲を用ひて砲擊を加へるとも共少しも心配無く、此れを爆破するには持久戰にて包圍し、食料救援を斷つか地下を堀りて近付き綿火藥で爆破するより他に無い、中に六十人許りの兵が居住する事か出來良くか人數にして大敵を向へる事が出來る。鐵橋の警備に常り常に銃劍を持つた兵が步哨に立ち嚴重なる監視をして居る。鐵橋には門が有り非常時には閉しで防備する事になつて居る

川邊の雜木林の繁から中東鐵路幹部の別莊が點々として覗いて見える。燃える樣な炎熱から逃れて沼線から哈爾濱から來る人達が川邊の小船を浮べて、桃色の戀の花を咲かせさては夕にはギターの音も寬かにマズルカを舞り、ストガリーローマンスの生れるのも此の川畔である

素晴しい出來榮え・この大內容を見よ・評判愈々高し・

國難來る!
日本はどうなるか
別冊大附錄 四六判 六百六十頁
各方面の權威が心血を注いで執筆せる堂々たる書籍を添附

日支は斯く戰ふ…第二の世界大戰を誘發するものは日支戰だ見よ風雲甚だ急なるを!
日露は斯く戰ふ…皇軍が世界一の赤露機械化兵團と戰ふ日は何時?其の結果は如何?
日米は斯く戰ふ…日本を目標に動き出した米海軍は今何處にあるか形勢いよいよ迫る
帝都のスパイ網…商人に看護婦に外交官に化けた彼等の戰慄すべき暗躍ぶりを見よ!!
空襲下の日本…敵機から狙はれるは何處?帝都か九州か東海道か?その防備は如何
戰慄の新兵器戰…兵器の革命時代だ。今後は新兵器の優劣によつて勝敗は決せられる
國家總動員…會社も工場も青年團も學校も武裝すべき時來らん!全國民必讀せよ

高田陸軍中將　山中峯太郎　伊藤陸軍少將　平田晉策　中嶋海軍少佐　二子石陸軍中將　海野十三　櫻井陸軍少將　阿部經濟學博士　陸軍省動員課 堀陸軍中佐

四月號
日の出
この大壯觀で定價五十錢

天皇陛下御尊影　謹製袋入
宮內省御貸下の原板により謹製せる御馬上の御英姿
天長節奉祝記念として全讀者に贈呈す

御製
(掛軸になる上質和紙に謹製)
(本年勅題「朝海」の御製)
御歌所長・子爵 入江爲守謹書

▲名將を語る……陸軍中將 本庄繁
▲天と俱に生くべし……拓務大臣 永井柳太郎
▲新たに世に出る人の爲めに
卒業生諸君のみならずサラリーマン諸君は先づ一讀せよ、出世榮達のコツは茲にある。
■戰雲漲る中を支那軍艦に乘る　平田晉策
戰亂の熱河を語る(中野江漢)

×××

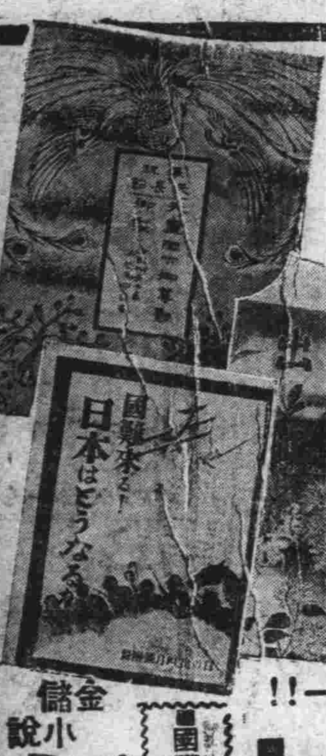
六名士の秘話を聞く
◉思ひ切って無罪宣告　政友會總裁 鈴木喜三郎
◉松方一門に絡まる奇緣　男爵 鄕誠之助
◉間違ったら腹を切る　元內務大臣 床次竹二郎
◉伊藤公と激論三時間　元大藏大臣 片岡直溫
◉張作霖爆死事件　元遞信大臣 久原房之助
◉天覽劇の感激　俳優 中村歌右衛門

聯盟脫退後の大問題 南洋の委任統治諸島(深澤正策)
返せ返さぬで大問題が起りさうな日本統治の島々はどんな所か。元南洋長官秘書

滿洲で旗擧げた人々への座談會
出席者　陸軍省新聞班 矢萩少佐　外務省(前領事)田代重德　拓務省企資課長 今吉敏雄　拓務省事務官 森重千夫　滿鐵業務主任 杉浦平八　在鄕軍人會本部 遠藤大佐　東朝前支那部長 大西齋　東日支那課長 村田孜郎
(有望な事業と職業、頼るべき紹介所、成功したやり方、習慣風俗、滿洲婦人との結婚問題、馬賊は恐くない等々)

相慕ふ四十七年 生みの母に會ふ　長谷川伸
■映畫物語「お蝶夫人」
■强豪決死の一騎打ち

櫻內家悲劇の眞相
節情の處女は何故死を選んだか?全日本家庭への一大警鐘として發表する!(中村信二)
批判 菊池寛 山田わか



小說の面白さだけでも雜誌界第一!!
■時代小說 若衆髷　白井喬二
■現代小說 心の波止場　牧逸馬
■時代小說 燃える富士　吉川英治
■現代小說 日本の戀人　三上於菟吉
■國際間諜小說 第三の曉……山中峯太郎
■日本劍客傳 武勇講談 眞庭の小天狗　太田貞水
■大探偵小說 犯罪發明者　甲賀三郎
身の上相談小說 貞操の陣　小野賢一郎
金儲小說 相場道一代男　和田邦坊
(衝然と云はんか天晴れ相場師の男ぶり!金儲け小說にしてまた立志小說!!)

大懸賞 高級ラヂオセット(ナナオラ四球式)置時計進呈

滿洲軍隨一の惡戰苦戰快戰
長谷部旅團大血戰錄
行くところ必ず敵が斃れる、まるで磁石のやうだと多門將軍に言はれた長谷部旅團の壯烈極まる實戰談が同旅團長以下各將校によつて發表さる。衝然激壯、何人をも感激興奮せしめる大讀物。

定價五十錢(全國書店にあり)　東京牛込　新潮社發行

戀多黒船往來

禁轉載上映及上演

(作) 寺島柾史
(畫) 布施長春

第三十七回
春の草野(七)

『なるほど、そのときの大怪我のあとか……。よくまア助かつたものぢやのう』

白軒は冷笑した。

『笑ふなよ。相手は何しろ腕のある旗本上がりだ。矢立を握る御用番役人とは段がちがふのアあたり前だ』

『女にかけては、一かど腕の者だがのう』

『それはお主のことさ』

『いや……で、立待臺場の崖から突落されてから……』

『うむ。あくる朝、大森濱で海鼠舟にたすけられて、蘇生したといふ譯さ。典膳め、おれが生きてゐようとは、さすがに知るまいて……』

『だが、フランス軍艦に便乘して紫園を立退いたからには、いくら貴公が躍起になつてもあとの祭りだらう』

それは、相手を冷笑するかたちで、實は、自分自身の絶望のうめきだつた。

『ところがよ、その典膳はじめ、國や青剃りたちに近づく手段があるのぢや』

『ほう』

『フランス軍艦はな、あのまゝ南を指して赴いたのではない、實ア……』

『待て！』

格之進の言葉を中途で制しておいて、注意深くかたはらを振かへつた白軒は、彼らしくなく、おもはず低く鋭く叫んだ。

『おや、チプヌイが……』

『えッ』

格之進もそれに氣がついて口走つた。

いまのさつきまで白軒と膝を語り合つてゐたアイヌ娘のチプヌイの姿は見えないのだ。ふたりが話に夢中してゐる際に、ひそかに番[illegible]して立去つたものらしい。

『ほう、あの愛くるしい土人娘、おれに恥らつて番屋へ逃げ込んだとみえる。これはとんだ獣の邪魔者だつたわい。ヘヽヽヽ』

事もなげに笑ふ格之進を、じいツと見据へて白軒は、宣告するやうにきびしく叫んだ。

『はやく、はやくこの場を立退くがよい』

『なに？』

『チプヌイの注進で、いまにサンプト番屋の連中が大擧してこゝへおし寄せるだらう』

『なぜだ』

『何故でもない。貴公を、函館奉行の廻し者と誤解してをるのだ。チプヌイはじめ番屋一統の眼だ。耳だ。おれをすくふために當別の部落一統が犠牲になることを辭さぬのだ』

『さうか。お主はどこへ廻つてもいゝ役を振られるのう。それほどチプヌイ番屋のものに崇められてゐるのか』

格之進は立上がつた。が、すぐにまた草にうづくまつて

『だが、白軒、おれがこゝへ姿をみせたのは、奉行の廻し者ではないことを、お主、十分にわかつてくれるだらうなア。それどころかさつきもいつたとほり、お主を誘ひに來たのだ』

『なに？』

『おれは、あくまでも紫園を手に入れなければならぬ。またあの典膳奴に報ゐねばならぬ。お主はまたあのフランス軍艦に近づきたいのが本音だらう。だから、お互氣を合して黒船の行先へ赴かう。どうだ？』

『その黒船の行先は？』

『南京でも、安南でもない。同じこの蝦夷地だ。陸續きにあとを追ふことのできる手近なシリベシの海だ。さア、サンプト番屋の荒くれどもの押かけてこぬまに、一刻も早く立のくと致さう』

『……………』じつと思案してゐた白軒は、靜かに立上がつた。チプヌイの纏綿たる愛情にひかれながらも、彼の黒船に寄する野望の方が、それよりも大きく[illegible]

營業科目
メタルカップ
徽章金銀
マーク金銀盃
記念品 其ノ他勳章略章類一式
▽專門製作△
御一報次第見本進呈
東京 明治徽章商會
奉天出張所
奉天木曾町七ノ八
(電話四三五九)東京屋

完全燃燒無煙
村上式
改良蓄熱 ストーブ
店舖、事務室、及工場用として、他に比類なき理想的ストーブ
關東軍經理部
滿鐵會社 御採用
金物百貨店 西脇洋行
三笠町二丁目

募進又募進！
特急ハト
援聲孃スービサ
1933式 調理
祝町二丁目ノ三一
電話三八四六番

滿洲銀行

株式會社 正隆銀行
本店大連
新京支店 日本橋通四番地

澤庵ノ大賣出
一、正味十七貫入 壹樽金七圓二十錢也
一、正味四貫入 壹樽金二圓七十錢也
當牧場漬ケ込ミノ澤庵モ本當ニ良イ味ガツキマシタカラドシドシ御用命ヲ願ヒマス
景品附ハ不公平ニナリマスカラ取消シマスソレ丈安價ニ致シマシタカラ御諒解ヲ願ヒマス
舊飛行場前
三宅牧場
電話二〇八八番

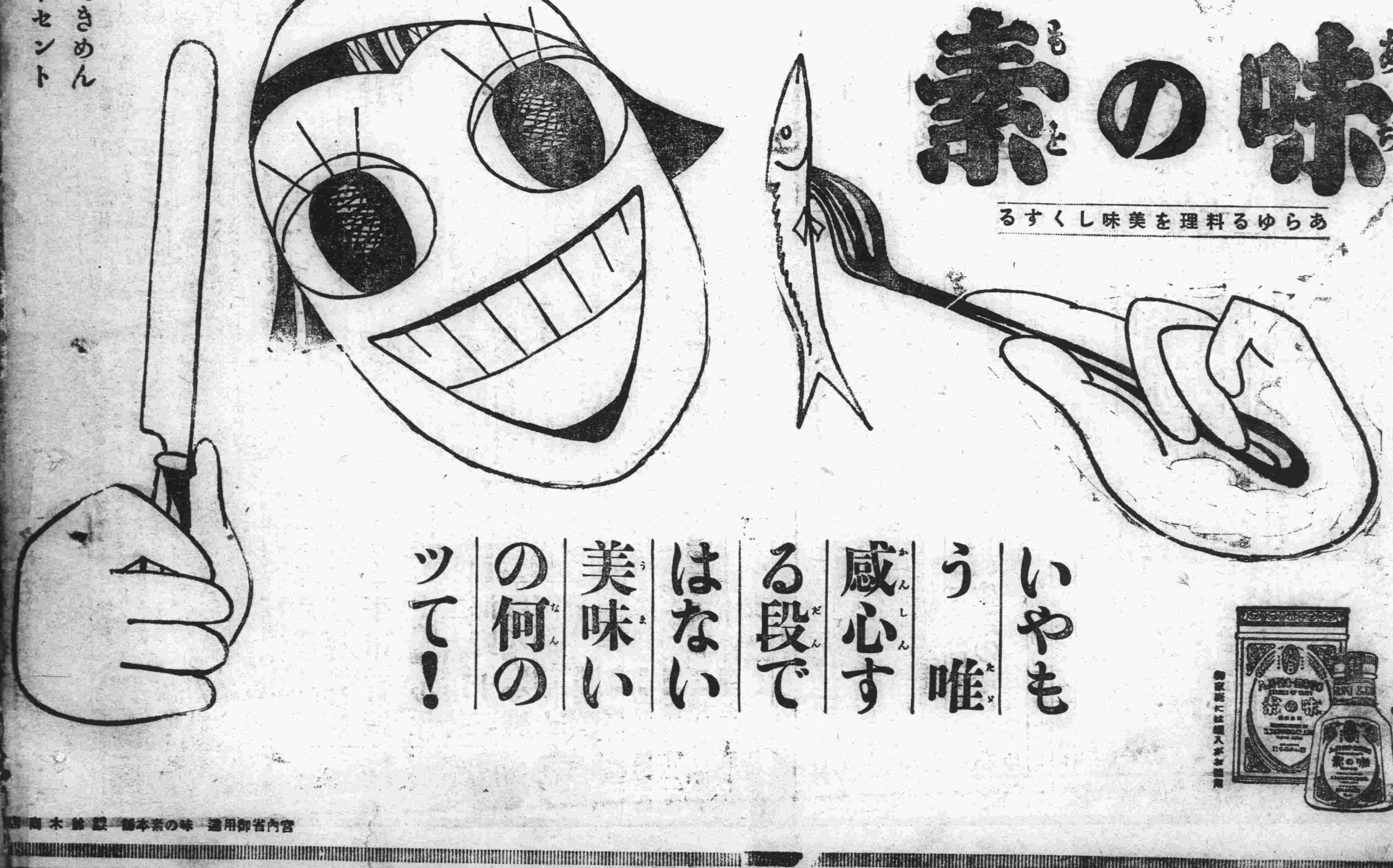
貨物自動車
海陸運送
引越荷物荷造り
迅速、親切、誠意、努力、
昌
昌圖公司新京支店
電話圏三七二七番
新京富士町五丁目十番地
本店大連市武藏町

1933の帝都大流行の
合服新柄！
新柄豐富入荷
●色合は茶と縞物が大歡迎……
洋服材料商 松田洋服店
新京三笠町三丁目。電話二一四二番

「建築界ノ第一線ニ進出セル店」
安心シテ信頼シ得ル店
丁寧デ速ク親切ニ施工致シマス
◉特ニ建築ノ無料相談ニ應ジマス
御申込ノ節ハ御一報願ヘバ早速參上致シマス
建築土木ノ請負 ● 設計ノ製圖
施工ノ監督 ● 土地ノ測量
日商 和成公司
新京公學校前
新京室町二丁目九番地
電話三〇六六番

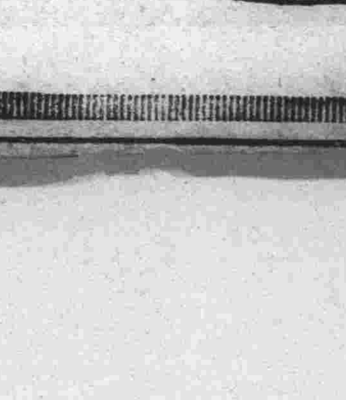
機械暖房衛生工事設計請負
水道暖房衛生ノ修理
御用命ハゼヒ 近藤商會へ
敏速ニテ實費デ致シマス
新京日本橋通リ七拾八番地
近藤商會新京支店
電話三三八一番

あらゆる料理を美味しくする
味の素



効力てきめん
百パーセント

いやもう唯感心する段ではない美味いの何のッて！



御家庭には罐入がお徳用

宮内省御用達 味の素本舗 鈴木商店